

富山県中小企業金融実態調査

令和2年8月

富山県商工会連合会

令和 2 年度中小企業金融実態調査結果概要

令和 2 年 8 月 17 日
富山県商工会連合会

I. 調査目的

県下商工会地区における中小企業・小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

II. 調査対象及び方法

商工会地区の中小企業・小規模企業のうち、1,060 先を無作為に抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

III. 調査時期及び実施期間

調査書記入時点	令和 2 年 7 月 1 日現在
調査実施期間	令和 2 年 7 月 1 日～7 月 10 日

IV. 回答状況

調査対象企業数	1,060 先
回答企業数	1,054 先 (回収率 99.4%)

V. 調査結果の概要

ここ 1 年間の売上高では、売上増加企業が前回比 20.0 ポイント減少し 28.5%、売上減少企業は 20.2 ポイント増加し 71.1%となり、厳しい結果となった。採算面では、黒字企業が 17.3 ポイント減少し 22.9%、赤字企業は逆に 17.6 ポイント増加し 38.0%だった。今後の売上予想では、「増加する」が 28.9 ポイント減少し 14.5%、「減少する」は 28.3 ポイント増加し 83.8%となり「増加する」を大きく上回った。消費税増税の転嫁状況は、「100%転嫁している」が 70%と、前回増税時（平成 26 年 4 月）の 58.4%より 11.6 ポイント高くなっている。「新型コロナウイルス」の経営への影響は、「深刻な影響がある」と「かなり影響がある」の合計が 60.2%、「ほとんど影響がない」は 11.8%だった。業種別には、「飲食業・宿泊業」が 92.8%と最も広汎に影響を受けており、次いで「卸売業」「小売業」の順、逆に「建設業」は「少し影響がある」と「ほとんど影響がない」の合計が 59.4%と、比較的影響が小さい。経営課題は、「販売の強化」「経費削減」「人材の確保・育成」が 3 大課題である。

金融機関からの借入状況では、前回まで 10 年連続で「減った」が「増えた」を大きく上回っていたが、今回は「新型コロナウイルス」の影響で「増えた」が 14.1 ポイント増加し 41.5%、逆に「減った」は 16.0 ポイント減少し 33.2%になった。金利の低下傾向は続いている。今後 1 年間の設備投資計画では、「あり」が 4.6 ポイント増加

し 24.1%、その資金調達先は「金融機関」が 47.8%と最も多いが、「自己資金」での調達も 36.4%と高水準である。

国・県・市町村の制度融資の最近 1 年間の利用状況は、利用が「ある」は 8.4 ポイント増加し 30.6%となった。特に日本政策金融公庫や県などの「新型コロナウイルス」対策用制度融資の利用状況は「すでに利用している」が 25.4%、「これから利用する予定」が 20.4%だった。また、この制度融資を「知らなかった」と回答したのは 7.6%と少なく、短期間によく周知されている。最近 1 年間の信用保証協会の保証利用は、5.6 ポイント増加し 22.6%だった。

最近の諸制度では、「事業引継ぎ支援センター」の認知度が高まっている。「補助金」の制度は、「すでに活用している」と「今後、申請予定」の合計が 38.8%と前回比 10.3 ポイント増加し、活用は進んでいる。1 年前に施行された「事業継続力強化計画」認定制度は、「申請・認定を受けた」が 1.3%、「今後、申請の予定」が 1.1%と低い、「説明を受けたい」は 20.1%となっており、最近の大規模自然災害の増加を受けて、本制度への関心が高まっている。

VI. 今回の特徴点（前回・令和元年 7 月調査との比較）

1. 企業の経営の状況について

(1) 年間売上高は、売上増加企業が 20.0 ポイント減少し 28.5%、売上減少企業は 20.2 ポイント増加し 71.1%となり、厳しい結果となった。

今後の売り上げ予想では、「増加する」は 28.9 ポイント減少し 14.5%、「減少する」は 28.3 ポイント増加し 83.8%となった。「増加予想－減少予想」は－69.3%で、前回の－12.4%より 56.9 ポイントの悪化となり、更に厳しい見通しとなっている。業種別では全業種ともに厳しいが、「飲食業・宿泊業」は 90.7%が減少と特に厳しく、次に「製造業」「卸売業」「小売業」の順になっている。

(2) 採算の状況は、黒字企業が 17.3 ポイント減少し 22.9%で、赤字企業は逆に 17.6 ポイント増加し 38.0%だった。

業種別に見ると、黒字企業が多いのは「運輸業」「建設業」、逆に赤字企業が多いのは「小売業」「飲食業・宿泊業」で、それぞれ 51.7%、51.4%と過半数を上回っている。

(3) 今年 10～12 月の資金繰り予想では、「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計が 20.5 ポイント増加し 46.9%となった。苦しくなるを業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」「小売業」「製造業」の順で高い。

苦しくなる要因は、「売上が予定額に達しない」と「利益が予定額に達しない」の割合が圧倒的に高い。次いで「借入返済が大きい」「経費の増大」となっている。

(4) 消費税増税の転嫁状況は、「100%転嫁している」が 70%と、前回増税時（平成 26

年4月)の58.4%より11.6ポイント高くなっている。

- (5) 「新型コロナウイルス」の経営への影響は、「深刻な影響がある」と「かなり影響がある」の合計が60.2%、「ほとんど影響はない」は11.8%だった。影響があるを業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」が92.8%と最も広汎に影響を受けており、次いで「卸売業」「小売業」の順、逆に「建設業」は「少し影響がある」と「ほとんど影響がない」の合計が59.4%と、比較的影響が小さい。

影響があると答えた先の直近3ヶ月間(4~6月)の売上高は、前年同期比「50%以上減少」が30.1%、「30~50%未満の減少」が25.3%となった。両方の合計を業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」が90.3%と最も高く、次いで「卸売業」63.1%、「小売業」60.3%と続き、「建設業」は40.3%だった。

- (6) 経営課題は、「販売の強化」「経費削減」「人材の確保・育成」が3大課題である。次いで「商品・サービス開発」「設備投資」「事業承継」「技術力向上」が続いている。

2. 金融機関との取引及び借入状況について

- (1) 本年6月末の借入状況で、「借入なし」は9年振りに2.5ポイント減少し26.6%となった。また、従業員規模が小さくなるほど「借入なし」の割合が高く、「21人以上」が9.5%に対し、「0人」では39.2%が無借金だった。

昨年12月末との借入額の比較では、前回まで10年連続で「減った」が「増えた」を大きく上回っていたが、今回は「新型コロナウイルス」の影響で「増えた」が14.1ポイント増加し41.5%、逆に「減った」は16.0ポイント減少し33.2%になった。

- (2) 最近6ヶ月間に借入申込を「した」は12.9ポイント増加し49.3%、業種別には「卸売業」64.3%、「飲食業・宿泊業」が60.0%と高かった。

平均金利は「1.0%~1.5%未満」が8.6ポイント増加し45.7%、「1.0%未満」も3.7ポイント増加し10.8%となった。従来からの低下傾向に加えて、「新型コロナウイルス」対策用の無利子・低金利の特別融資が増加したことも影響していると思われる。

- (3) 借入返済の条件変更に対しては、「希望する」が7.3ポイント増加し16.2%で、希望する条件変更内容は「元金返済の一時据え置き(猶予)」が一番多く、次に「長期資金への切替」「返済期間の延長」の順だった。条件変更の難易度では、「容易である」と「交渉次第で何とかなる」の合計が73.2%と高い水準であるが、前年比では3年振りに5.5ポイント悪化した。

- (4) 今後1年間の設備投資計画では、「あり」が4.6ポイント増加し24.1%、資金使途は「工場・店舗の補修・改修」「車両の購入」「製造機器・ラインの増設」等本業への投資が多い。

資金調達先は、「金融機関」が 47.8%と最も多いが、「自己資金」での調達も 36.4%と高水準である。「自己資金」の割合が高いのは、業種別には「小売業」「飲食業・宿泊業」「サービス業」、従業員規模別では「2人」以下の小さいクラスだった。

- (5) 借入時に重視する条件は、「金利が低い」が 3.2ポイント増加し 62.4%、「条件が有利」は 12.9ポイント増加し 48.1%となり、直接的な借入条件が重視されている。一方、「日頃のつきあい」「経営上の相談・指導が得られる」「近くて便利」等の間接条件は低下傾向にある。

また、借入を考える場合の懸念事項では、「業況の先行き見通し難」が 71.3%、「借入後の返済力」が 65.8%で 2大懸念項目になっている。

3. 制度融資について

- (1) 国・県・市町村の制度融資の最近1年間の利用状況は、利用が「ある」は 8.4ポイント増加し 30.6%となった。業種別に見ると、「製造業」が 36.8%、「飲食業・宿泊業」が 35.7%と利用率が高く、従業員規模別では、「16~20人」が 51.5%、「21人以上」が 45.2%と大きいクラスで積極的に利用している。

利用しなかった理由としては、「利用する必要がなかった」が 79.3%と圧倒的に多く、次いで「制度融資を知らなかった」8.6%、「手続きが面倒だから」5.0%が続いている。

- (2) 国・県・市町村の制度融資は、「経営の役に立っている」と回答した企業は 98.8%だった。ただ一方では、「金利を安くしてほしい」「融資条件を緩和してほしい」「借入期間を長くしてほしい」等の意見も寄せられている。

また、日本政策金融公庫の「マル経融資」の経営上の有用性については、「大変役に立っている」「役に立っている」の合計が 55.7%と比較的高かった。一方で「知らなかった」も徐々に減少しているが 21.2%と依然として高く、一層の周知が望まれる。

- (3) 日本政策金融公庫・県などの「新型コロナウイルス」対策用制度融資の利用状況は、「すでに利用している」が 25.4%、「これから利用する予定」が 20.4%だった。

「すでに利用している」を業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」が 45.0%、次に「製造業」が 32.4%と高かった。また、「知らなかった」は 7.6%と少なく、短期間によく周知徹底されていると言える。

- (4) 最近1年間の信用保証協会の保証利用は、5.6ポイント増加し 22.6%だった。保証手続きについては、「円滑に保証が受けられた」と「少し難しかったが受けられた」の合計は 95.8%と高い水準だった。

信用保証協会の対応については、「訪問を受け意見交換した」「直接説明を受けた」「対応が丁寧」の評価意見が 4.5ポイント増加し 17.6%、「厳しくなった」は 2.3ポイント減少し 4.2%だった。他に、「保証料が高い」「保証条件の緩和」「対応を速

く」等の意見があった。

4. 最近の諸制度について

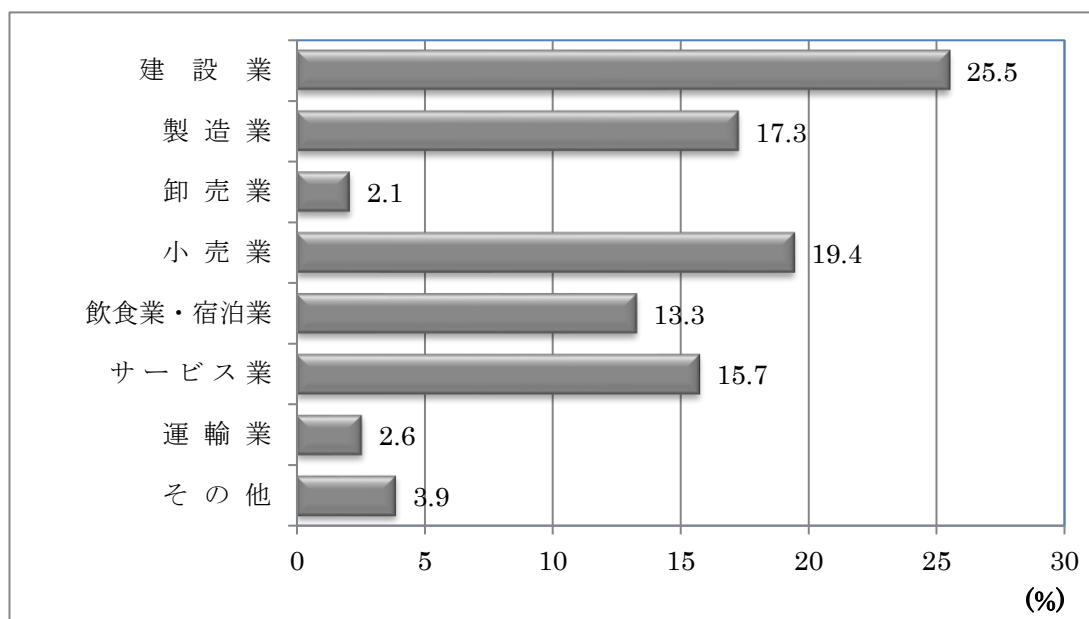
- (1) 「ビジネス創造支援事業」の専門家派遣については、「利用したことがある」は1.7ポイント増加し7.0%になったが、「関心があり相談したい」「内容の説明を受けたい」の合計は1.9ポイント減少し9.7%となり、新しい先への周知が必要と思われる。
- (2) 事業承継について、「事業引継ぎ支援センター」の認知度は4.5ポイント増加し29.7%、毎年上がっている。

事業承継における後継者対策については、「後継者決定」「後継者候補がいる」の合計は1.3ポイント減少し22.7%だった。「後継者がいない」「承継したいが承継できない」の合計は8.3%、「廃業予定」「廃業したいができない」「事業承継か廃業か検討中」の合計は13.8%となった。それぞれの問題解決のために「事業引継ぎ支援センター」の積極的な活用が望まれる。
- (3) 最近の「補助金」制度については、「すでに活用している」と「今後、申請予定」の合計で38.8%と10.3ポイント増加し、活用が進んでいる。業種別に見ると、「製造業」で57.3%、次いで「飲食業・宿泊業」が47.9%と活用度が高い。
- (4) 「経営力向上計画」認定制度については、「申請・認定を受けた」は1.0ポイント減少し3.7%と低い。「説明を受けたい」は0.8ポイント増加し16.3%ではあるが、全体として関心が薄い。業種別では、「製造業」で「申請・認定を受けた」が10.4%、「説明を受けたい」が21.4%と最も関心が高い。
- (5) 「事業継続力強化計画」認定制度は、ちょうど1年前に施行された制度だが、「申請・認定を受けた」が1.3%、「今後、申請の予定」が1.1%と低い。ただ、「説明を受けたい」が20.1%となっており、大規模な自然災害が増加していることから、今後さらに関心が高まるものと思われる。

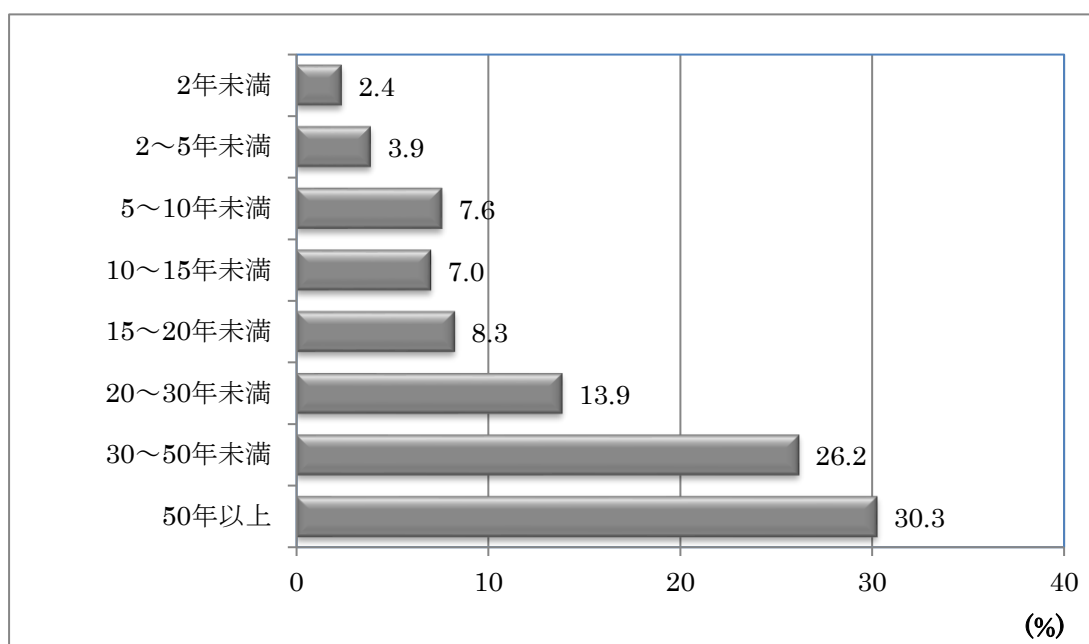
Ⅶ. 項目別の回答は以下の通りである。

1. 回答企業の概要

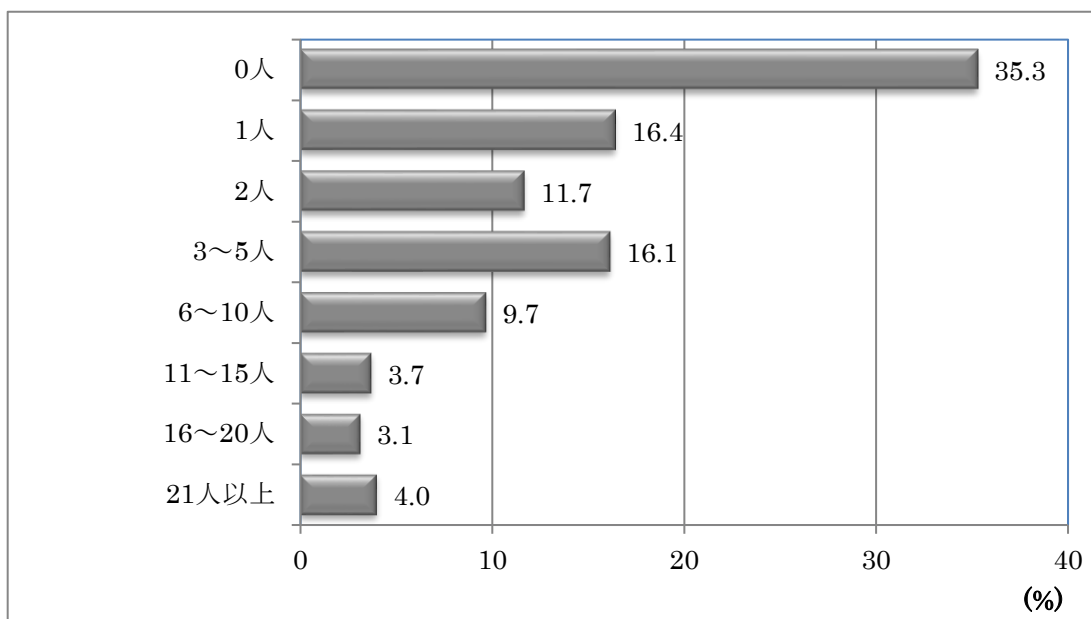
(1) 業種



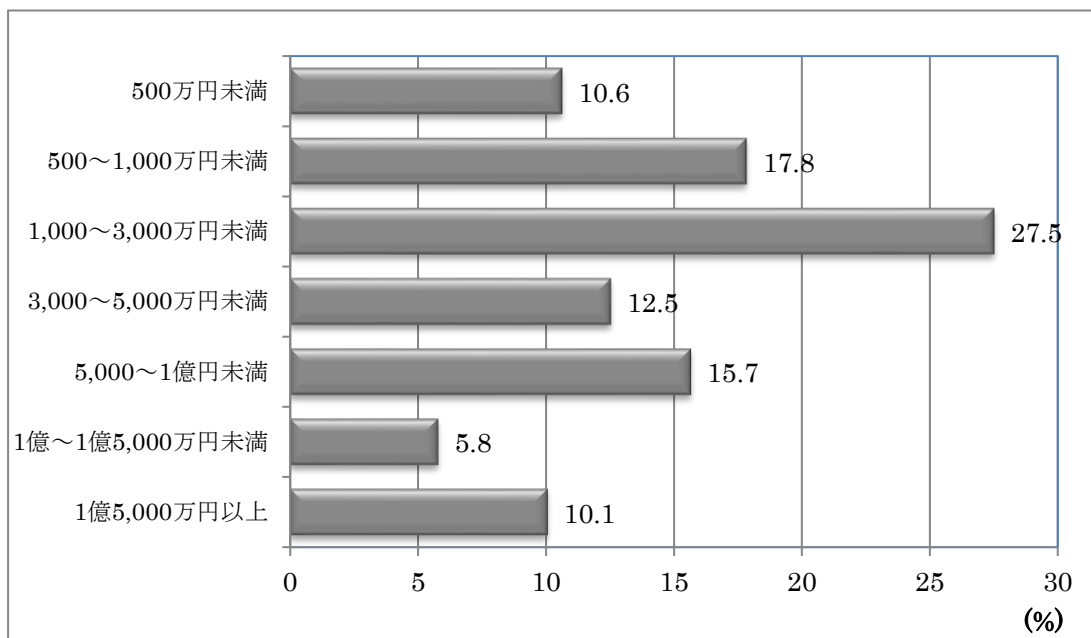
(2) 創業してから何年



(3) 常用従業員



(4) 年間売上高

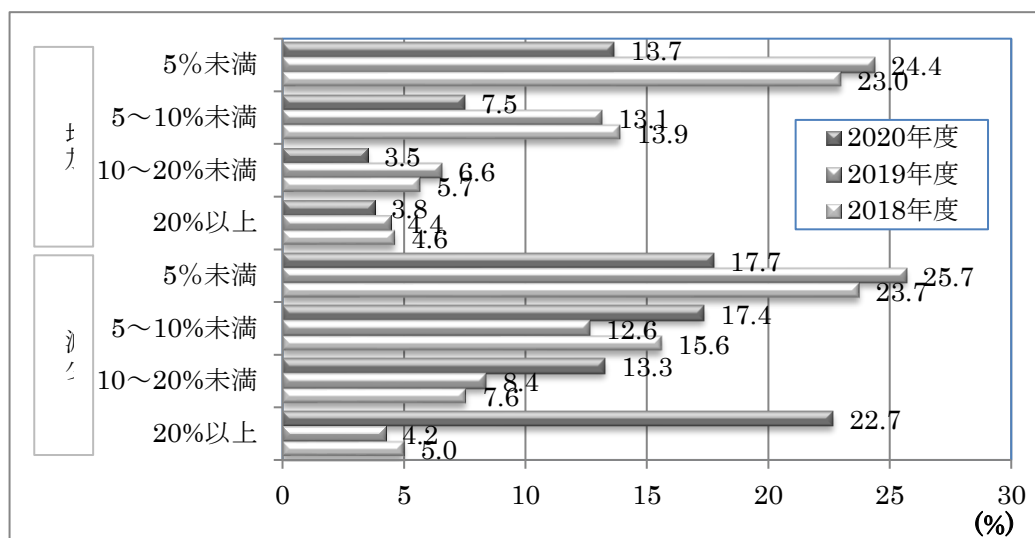


2. 経営の状況

(1) 年間売上高の増減率（対前回比）

売上増加企業は、前回比 20.0 ポイント減少し 28.5% となり、売上減少企業は、前回比 20.2 ポイント増加し 71.1% となった。

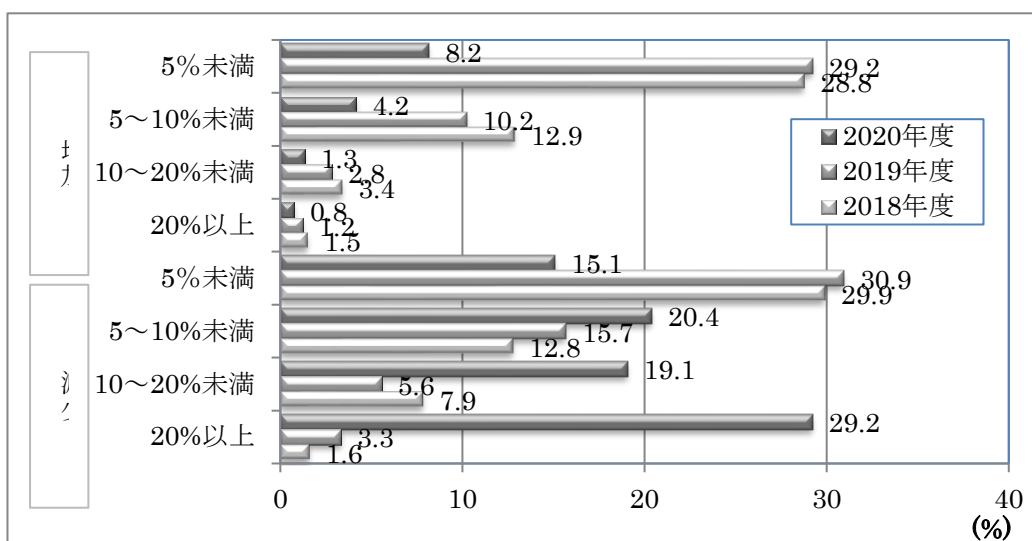
業種別に見ると、増加は「運輸業」「建設業」が多く、減少は「飲食業・宿泊業」「小売業」「卸売業」の順が多い。従業員規模別では、「3～5人」以下の比較的小さいクラスがより減少し、特に従業員「0人」では79.5%が減少している。



(2) 今後の売上高予想

今後の売上予想では、増加すると回答した割合は全体の 14.5% で前回比 28.9 ポイント減少、逆に減少すると回答した割合は全体の 83.8% で前回比 28.3 ポイント増加。「新型コロナウイルス」の影響を反映し、厳しい見方が圧倒的に多い。

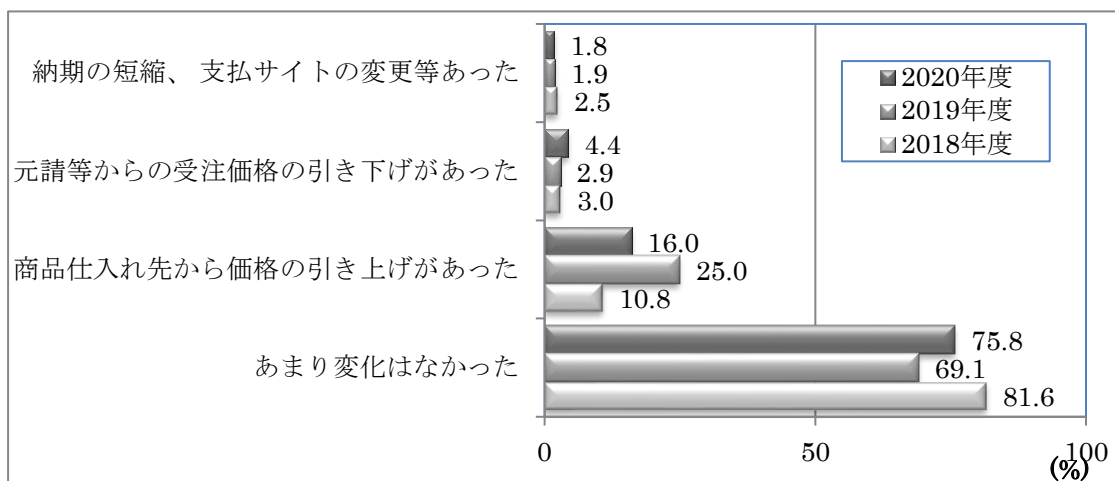
業種別に見ると全業種ともに厳しいが、「飲食業・宿泊業」は90.7%が減少と特に厳しく、次に「製造業」「卸売業」「小売業」と続く。



(3) 取引条件の変更

ここ1年間の商品仕入れ先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更では、22.2%が何らかの取引条件の変更を強いられた。但し、前回比7.6ポイント減少（改善）している。

業種別では「製造業」「建設業」が多かった。また、全体の75.8%（前回比6.7ポイント増加）が変化はなかったと回答。



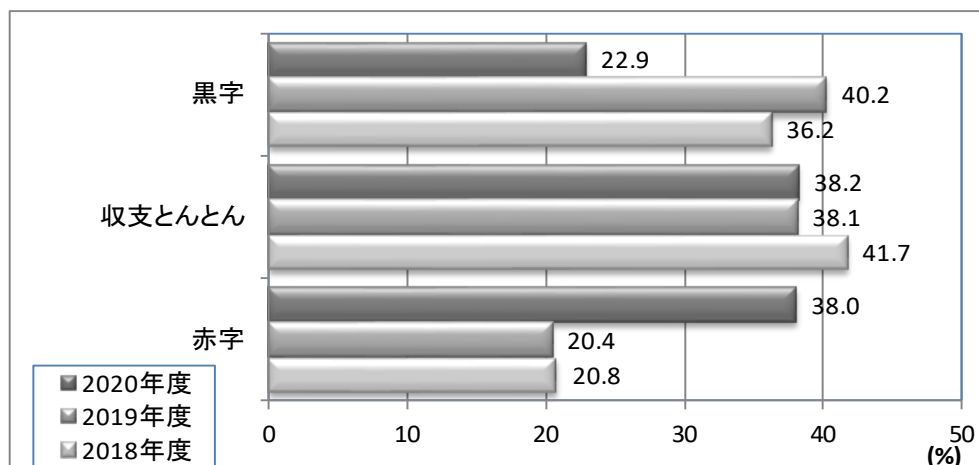
(4) 採算の状況

ア. 現在の採算状況

「黒字」と回答した割合は22.9%と前回比17.3ポイント減少した。「赤字」と回答した割合は38.0%と前回比17.6ポイント増加し、「収支とんとん」は前回比横這い（0.1ポイントの増加）。

業種別に見ると黒字企業が多いのは「運輸業」「建設業」、逆に赤字企業が多いのは「小売業」「飲食業・宿泊業」で、それぞれ51.7%、51.4%と過半数を上回る。

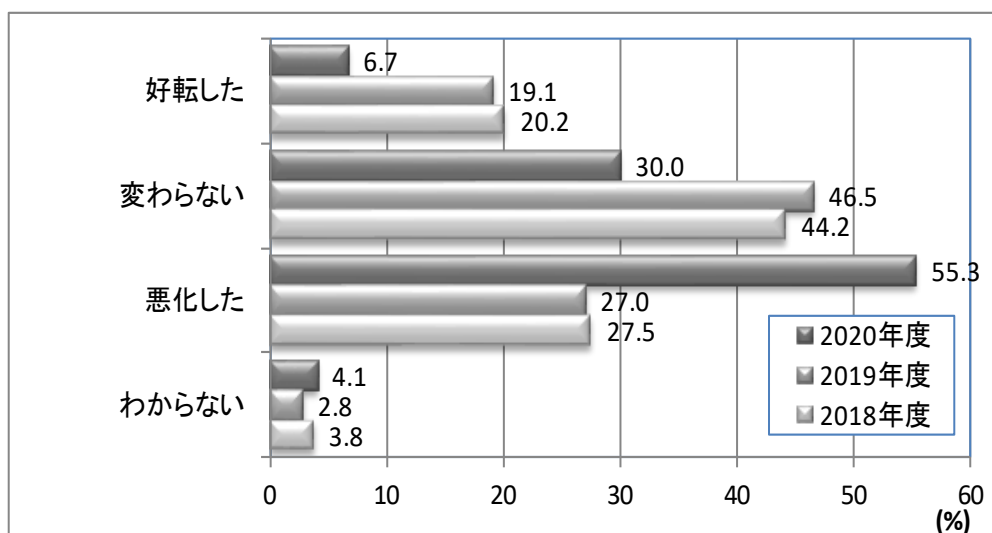
また従業員規模別での黒字企業は、「16～20人」「21人以上」の順で比率が高く、規模の大きいクラスで黒字企業の割合が高い。



イ. 採算状況（対前回比較）

採算状況は「悪化した」が 55.3%で 28.3 ポイントの大幅増加、「好転した」は 6.7%と 12.4 ポイント減少した。「変わらない」は 30%で 16.5 ポイント減少した。

業種別では「飲食業・宿泊業」で「好転した」のは 1 先のみで 0.7%、逆に「悪化した」は 75.0%と最も厳しい。また、従業員規模別では、「21 人以上」が「好転した」（14.3%）でも、「悪化した」（61.9%）でも最も割合が高かった。

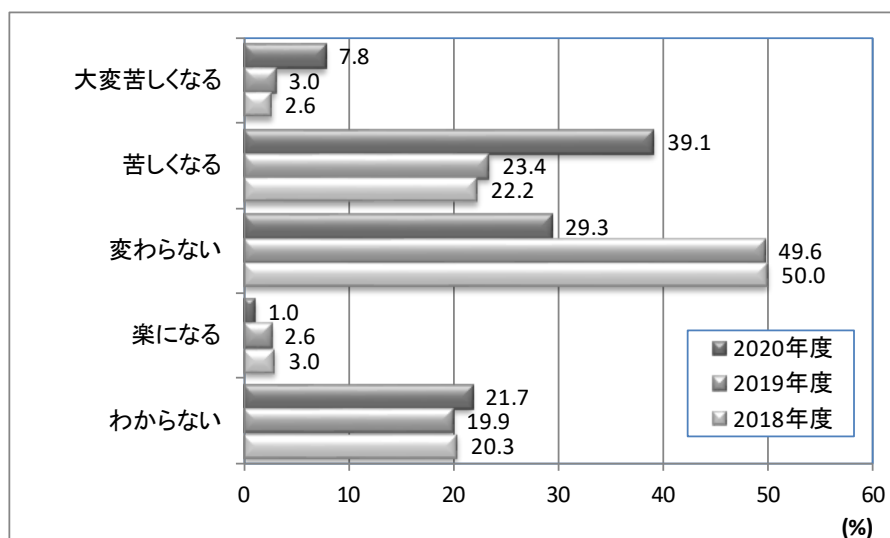


(5) 資金繰りの状況

ア. 今年 10～12 月の資金繰り予想

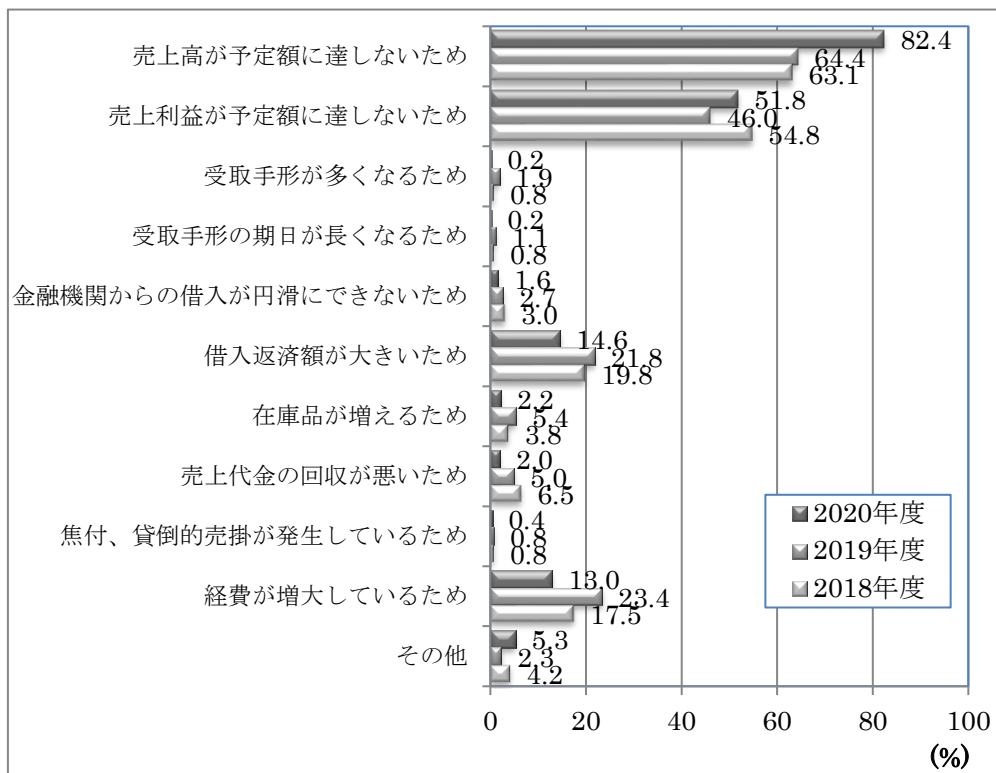
「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回比 20.5 ポイント増加し 46.9%となった。「変わらないが」20.3 ポイント減少して 29.3%、「楽になる」が 1.6 ポイント減少して 1.0%。

「大変苦しくなる」「苦しくなる」を業種別でみると、「飲食業・宿泊業」「小売業」「製造業」の順で高い。



イ. 資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

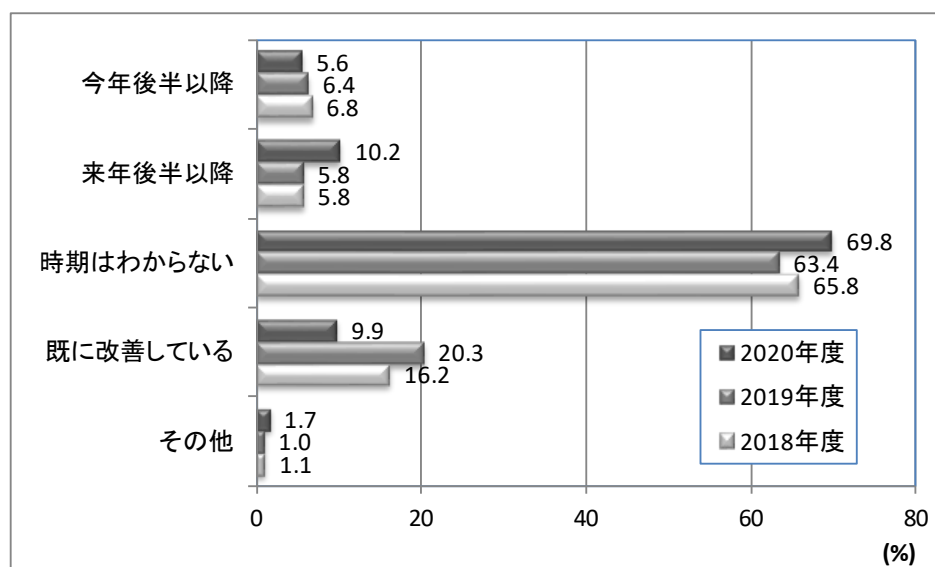
苦しくなる原因は、「売上が予定額に達しない」と「売上利益が予定額に達しない」が多く、次いで「借入返済額が大きい」「経費の増大」となっている。



ウ. 資金繰りが改善する時期

改善する時期は、「時期はわからない」が前回比 6.4 ポイント増加し 69.8%、「既に改善している」が前回比 10.4 ポイント減少し 9.9%だった。

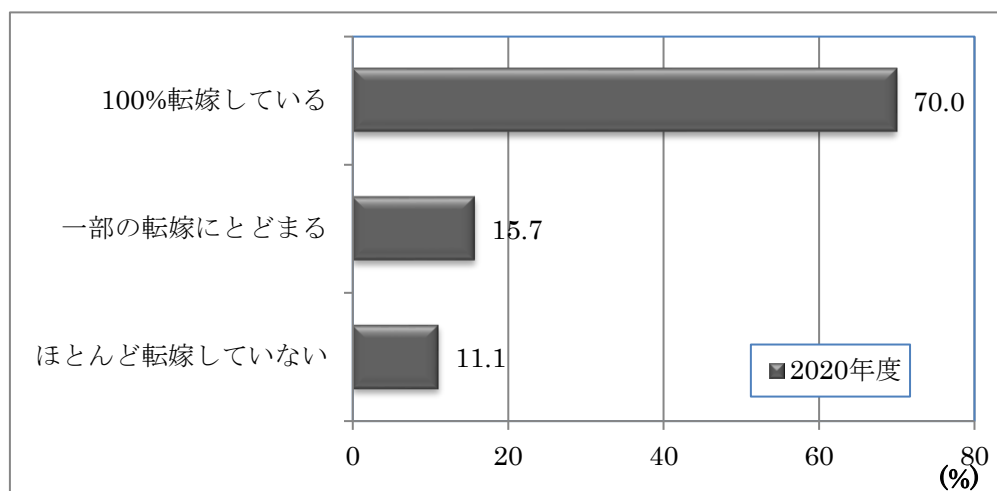
その他では「コロナ終息後」、「コロナで見通し立たず」、「3年後」等があった。



(6) 令和元年10月の消費税増税の転嫁状況

「100%転嫁している」が70%と、前回増税時（平成26年4月）の58.4%より11.6ポイント高くなっている。

「一部の転嫁にとどまる」と「殆ど転嫁していない」の合計を業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」「卸売業」「運輸業」の順に高い。

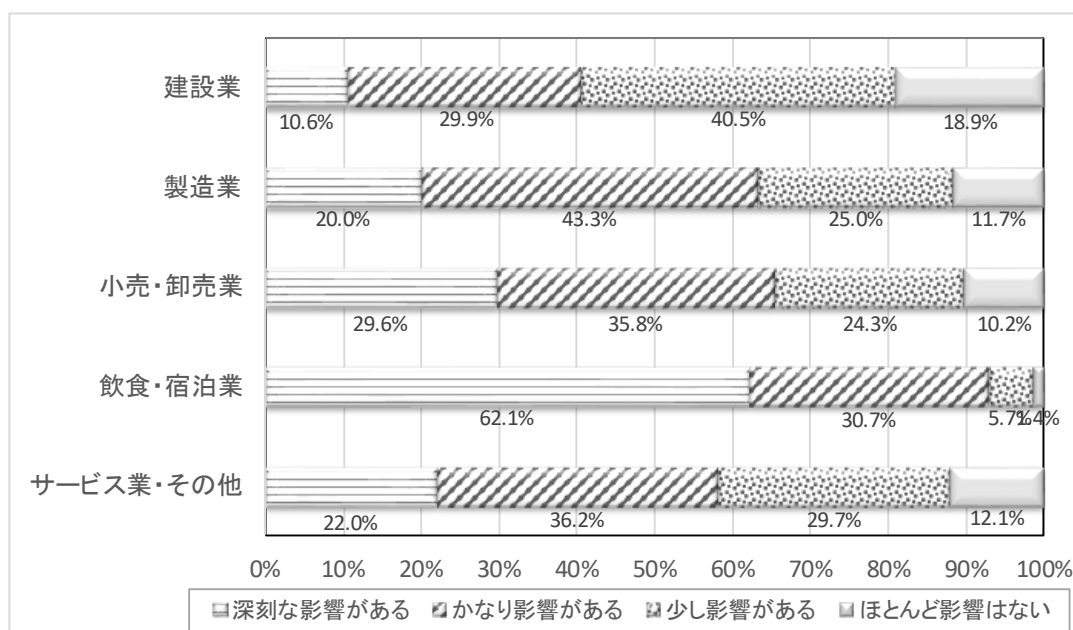


(7) 「新型コロナウイルス」の影響

ア. 経営への影響

「深刻な影響がある」と「かなり影響がある」の合計が60.2%、「ほとんど影響はない」は11.8%だった。

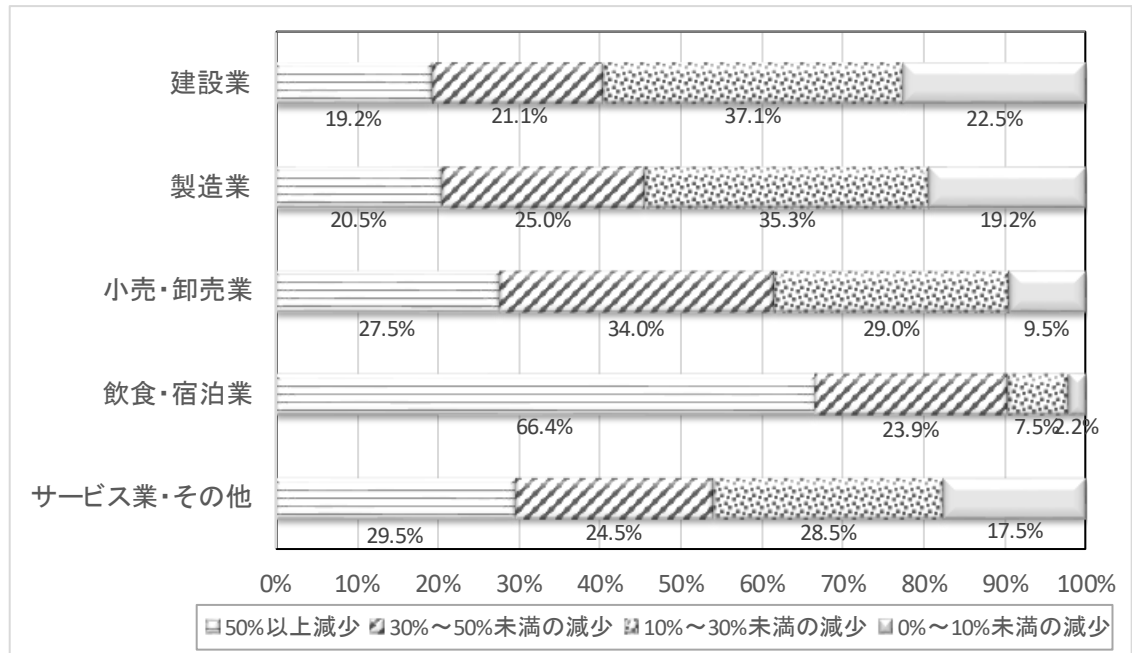
業種別には「飲食業・宿泊業」が92.8%と最も広汎に影響を受けており、次いで「卸売業」「小売業」の順、逆に「建設業」は「少し影響がある」と「ほとんど影響はない」の合計が59.4%と、比較的影響が小さい。



イ. 直近3ヶ月間の売上高（前年同期比）

問ア. の「ほとんど影響はない」を除いた先の直近3ヶ月間（4～6月）の売上高は、「50%以上減少」が30.1%、「30～50%未満の減少」が25.3%となった。

「50%以上減少」と「30～50%未満の減少」の合計を業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」が90.3%と最も高く、次いで「卸売業」63.1%、「小売業」60.3%と続き、「建設業」は40.3%だった。



ウ. 「売上高の減少」以外にどのような影響が出ているか

- ・「コロナ対応に時間が取られ、営業活動に影響が出ている」（製造業）、「遠くへセールス出張ができない」（卸売業）、「外商に出られない」（小売業）等営業活動への影響に関する意見・・・17件
- ・「商品の入荷が遅れて、工期に間に合わなかった」（建設業）、「仕入が減少したことにより、メーカー、問屋との取引条件が悪化」（小売業）、「県外へ仕入に行けなくなった」（飲食業・宿泊業）等仕入面への影響に関する意見・・・24件
- ・「従業員が高齢化しているので感染が心配」（建設業）、「社員の健康管理、社内で感染者が出た場合の対応」（製造業）、「雇用の維持が困難」（サービス業）等雇用面への影響に関する意見・・・20件
- ・「SCや駅での集客力低下が顕著に見られる」（小売業）、「お客様が外出を控えて、来店客数が減少している」（小売業）、「お客様の来店周期が長くなっている 毎月カットのお客様が3ヶ月に1回のペースになっている」（サービス業）等客離れへの懸念に関する意見・・・27件
- ・「例年ゴールデンウィークから県内各種のイベント、「道の駅」等での試食販売を

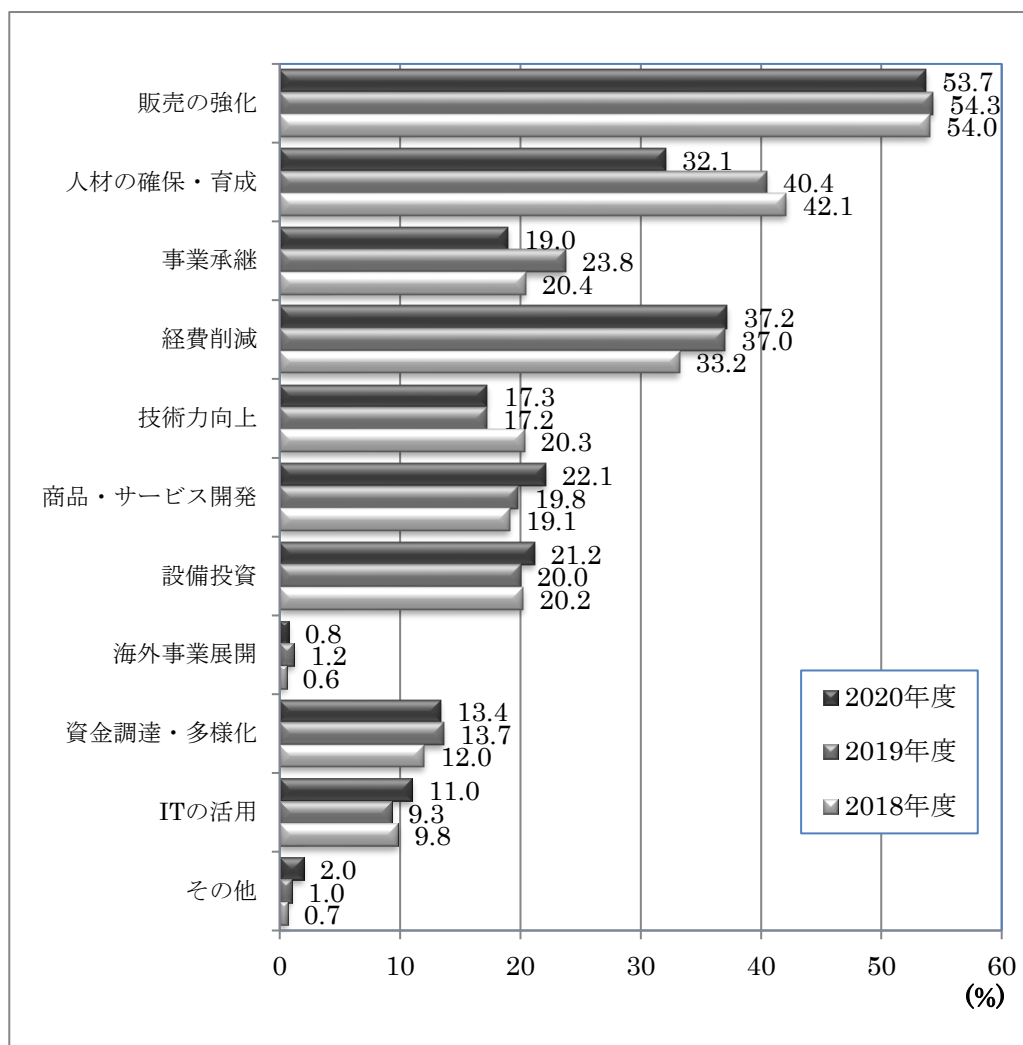
していたが、イベントが中止になり出張販売ができず、販促活動が停滞した」（製造業）、「3月、4月、5月の予約が全てキャンセルになった 小学校、中学校、自治会の歓送迎会は全て中止、結婚式、法要は自宅で家族だけで、この先どうなるのか」（飲食業・宿泊業）、「「おわら風の盆」が中止になったので、売上減少の影響が想像を超えるのではないかと心配です」（飲食業・宿泊業）等イベント・会合等の延期・中止による影響に関する意見・・・19件

- ・「工事現場が閉鎖のため、製品の出荷ができなかった」（製造業）、「景気が回復していないのに消費税が10%に引き上げられ、消費者が無駄使いしなくなった飲食業には深刻な影響を与えていると感じる 加えて今回のコロナで先行き不安である」（飲食業・宿泊業）、「店内の座席数を減らしたことによる売上減少」（飲食業・宿泊業）等販売不振に関する意見・・・16件
- ・「工事着工が先延ばしになる現場や、見積りを出したがそのままになっている物件がある」（建設業）、「今後、受注があるかどうか不安」（建設業）、「秋以降、受注件数が大きく減少すると思われ 単価も低くなることが予想され、その基準がコロナ終息後も引き継がれ、業界全体の低迷が懸念される」（製造業）等今後の売上・受注への懸念に関する意見・・・26件
- ・「売掛金の回収リスクが高まる」（製造業）、「買掛金支払のみが発生してくる」（小売業）、「売上が減少しても、経費の支払いは必要 資金繰りが厳しい」（小売業）等資金繰りへの影響に関する意見・・・11件
- ・「衛生面の確保のための消毒液やマスクの購入、販売方法変更のためのパッケージの購入など、本来の仕入れが難しくなるほど費用が掛かっている」（小売業）、「店内の予防対策では、どの対策が有効なのか見極めが必要 いずれにしても終わりのない戦いが続くので、経費が嵩む」（飲食業・宿泊業）、「手洗いは自動で水が出るように、十分な換気をするため容量の大きな換気扇に付け替えたりと、思いもよらない出費がある」（飲食業・宿泊業）等感染防止に関する意見・・・23件
- ・「消費行動が変化するため、従来の商品やサービス又その提供の仕方を新しく開発しなければならない」（製造業）、「時代がどんどん変わる お客様の方が先走って、追いつくのが大変」（小売業）、「お店へ行くのが悪い事のように思っている人が多く、この心理がコロナ前に戻るには時間が掛かるため、客足がいつ良くなるか不安」（サービス業）等消費行動・生活様式の変化に関する意見・・・26件
- ・これ以外に「工事現場に全国から人が集中するので、新規受注物件を断った」（建設業）、「コロナで売上は増加したが、経費も上がった」（小売業）、「感染予防のために神経を使い、疲れた」（小売業）等いずれにも属さないその他の意見が18件、総数227件、本調査始まって以来最も多いご意見をいただいた。

(8) 現在の経営課題について（3つ以内で回答）

「販売の強化」「経費削減」「人材の確保・育成」が3大課題である。3大課題に次いで「商品・サービス開発」「設備投資」「事業承継」「技術力向上」が続く。

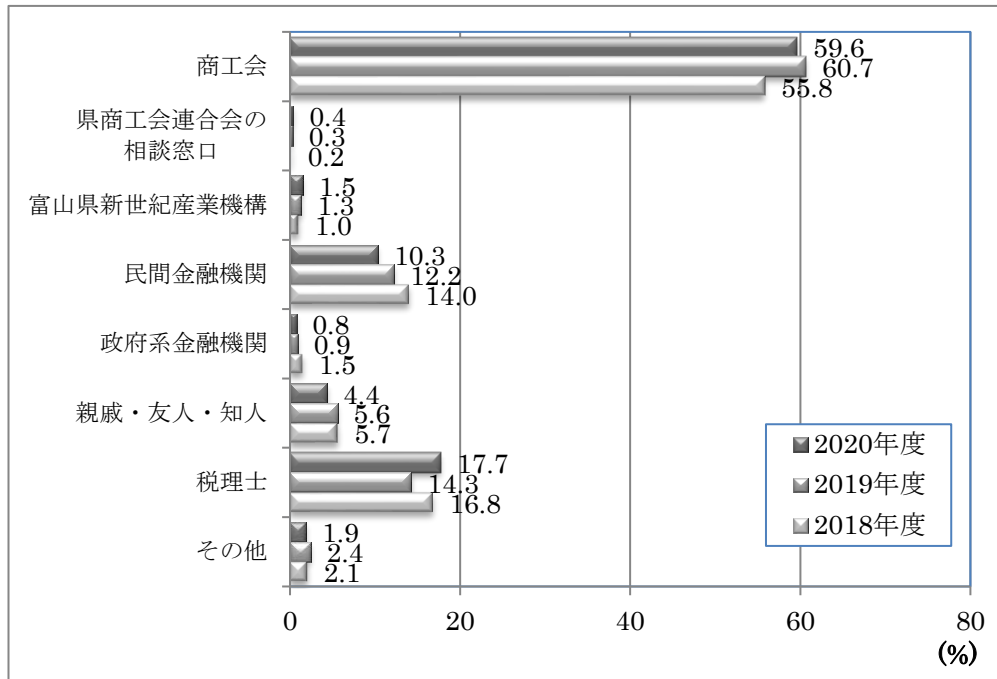
その他では、「在庫の整理・圧縮」「利益率のUP」「IoTを活用した新たな事業の展開」等があった。



(9) 経営課題や問題が生じた場合の相談先

経営上問題が生じた時、相談に行くところでは「商工会」「税理士」「民間金融機関」が多かった。

「その他」では、経営コンサルタント、中小企業診断士、同業者、家族等があげられたが、自分で考える（2件）や相談する人がいない（3件）もあった。

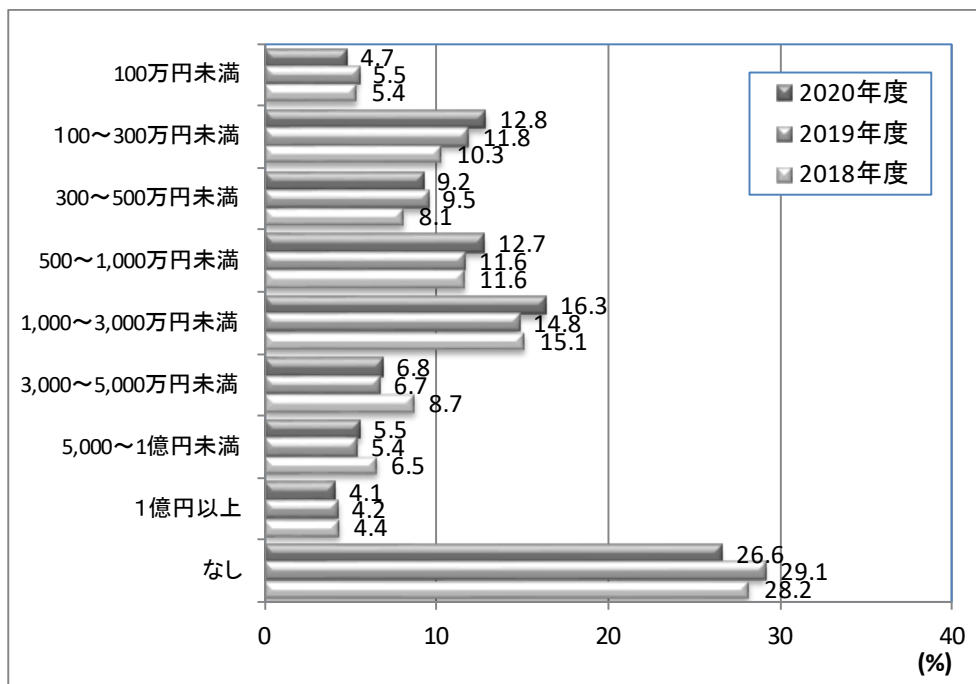


3. 金融機関との取引状況 等

(1) 本年6月末の借入額

「借入なし」は9年振りに2.5ポイント減少し26.6%、業種別では「卸売業」「小売業」「サービス業」の順に「借入なし」が多かった。

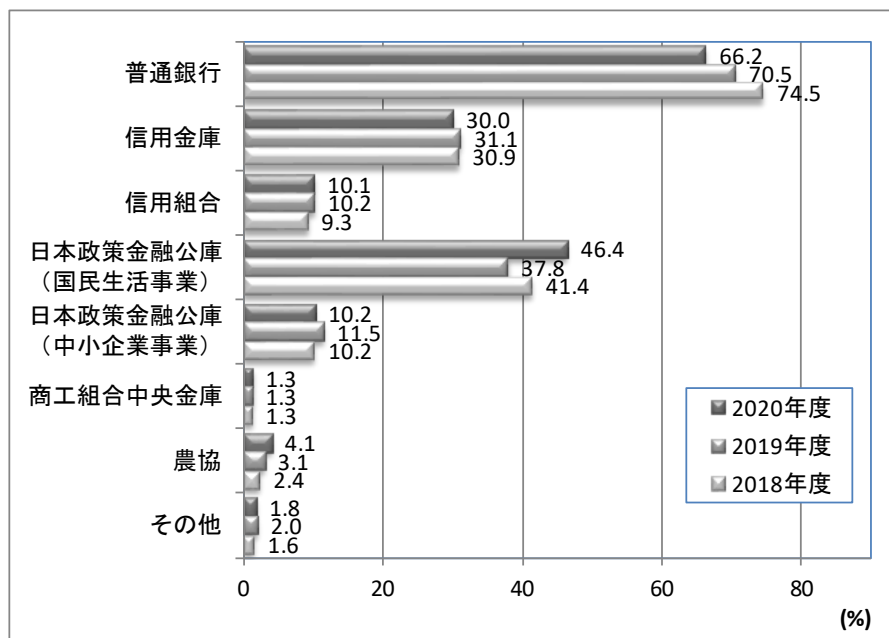
従業員規模別では規模が小さくなるほど「借入なし」の割合が高く、「21人以上」が9.5%に対し「0人」では39.2%が無借金。



(2) 現在の借入先（多い順に3つ以内で回答）

「普通銀行」が前回比4.3ポイント減少し66.2%、「日本政策金融公庫（国民生活事業）」は逆に前回比8.6ポイント増加し46.4%となった。

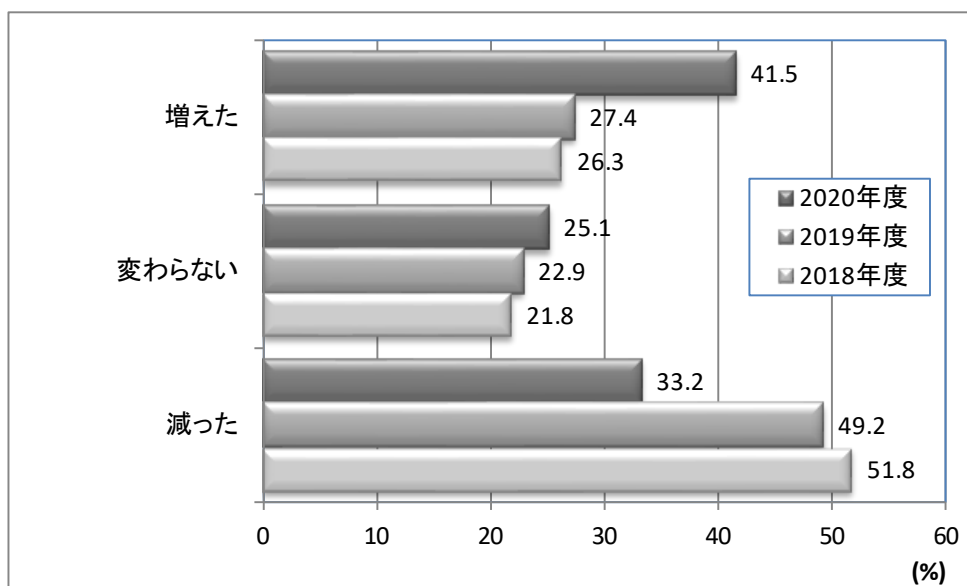
その他には、「本人」「家族」等があった。



(3) 借入額の増減（昨年12月頃と比較）

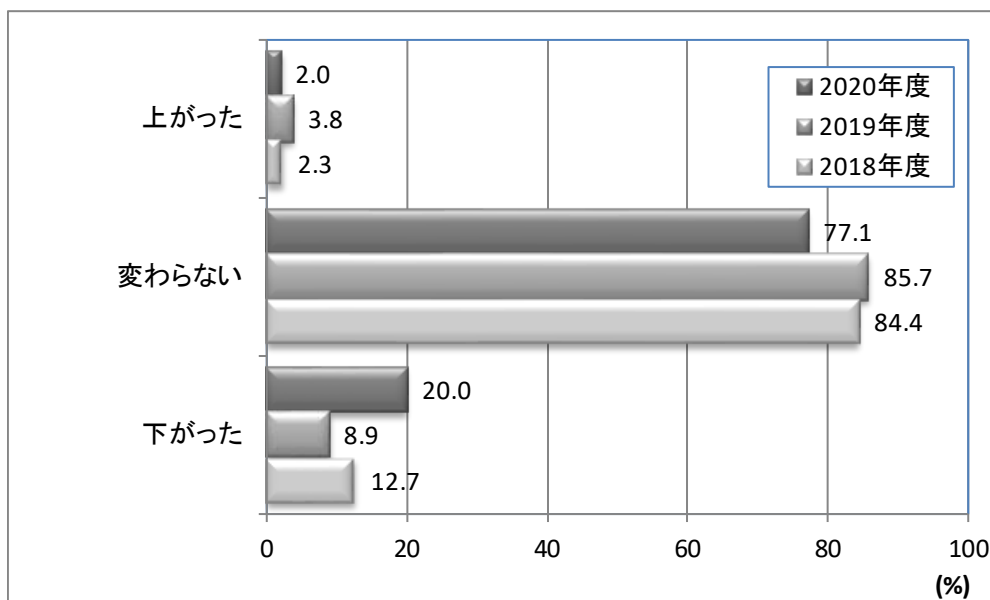
前回まで10年連続で「減った」が「増えた」を大きく上回っていたが、今回は「新型コロナウイルス」の影響で「増えた」が前回比14.1ポイント増加し41.5%、逆に「減った」は前回比16.0ポイント減少し33.2%となった。

業種別に見ると「増えた」企業の割合が高いのは「飲食業・宿泊業」で59.0%、次に「卸売業」「サービス業」の順に多かった。



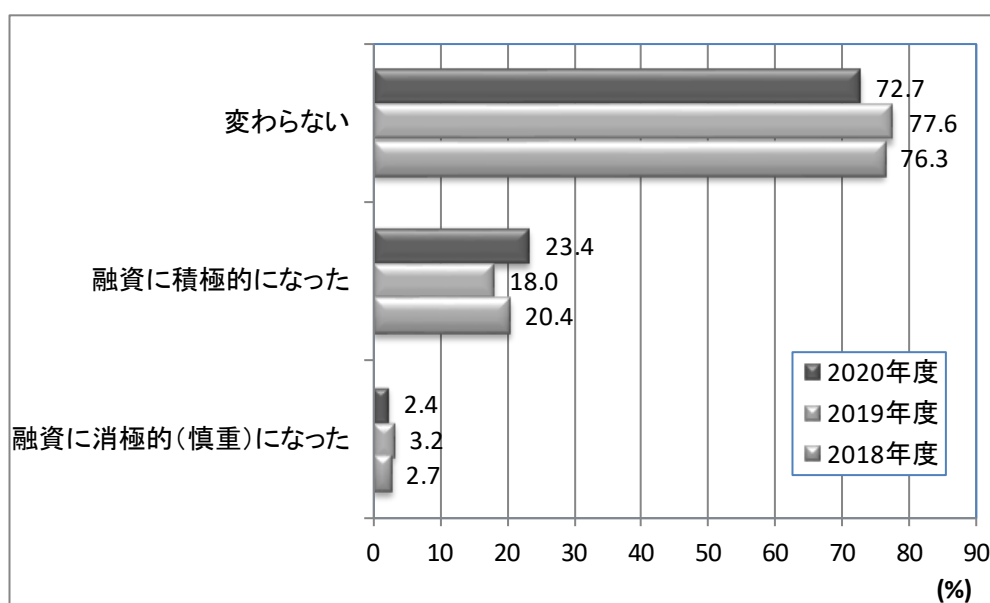
(4) 借入金利の変動（昨年12月頃と比較）

「下がった」は前回比11.1ポイント増加し20.0%で、「上がった」2.0%を大きく上回った。従来からの低下傾向に加えて、「新型コロナウイルス」対策用の無利子・低金利の特別融資が増加したことも影響していると思われる。



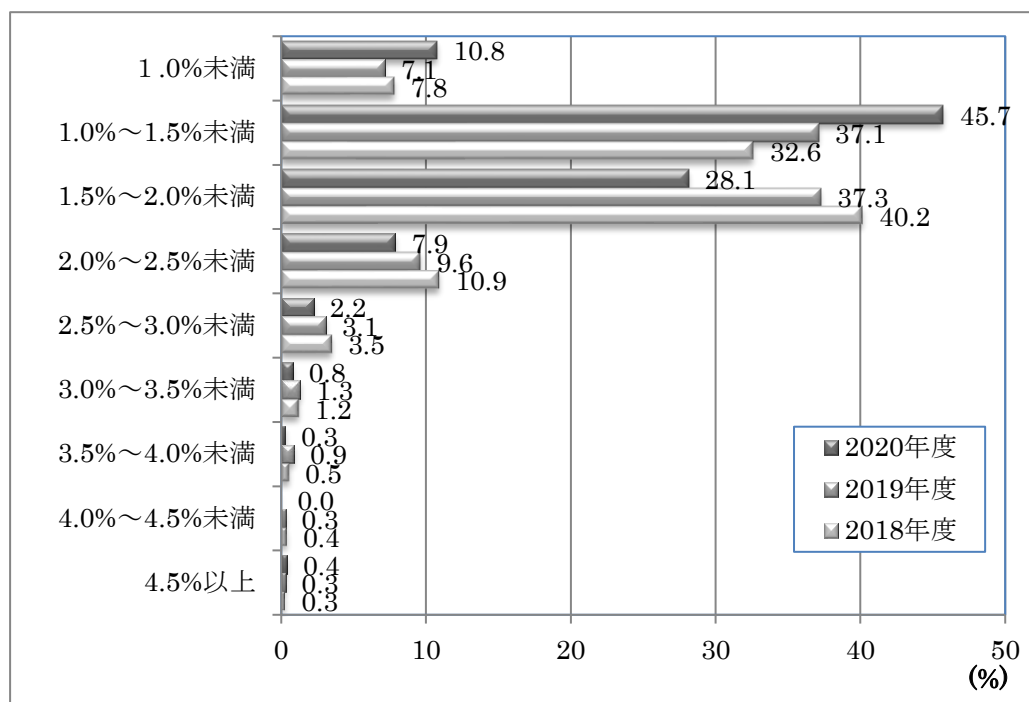
(5) 平成28年2月からの日銀のマイナス金利政策による金融機関の融資姿勢

「融資が積極的になった」が前回比5.4ポイント増加し23.4%と「融資に消極的になった」の2.4%を大きく上回った。「変わらない」が72.7%だった。



(6) 現在の借入金利（平均）

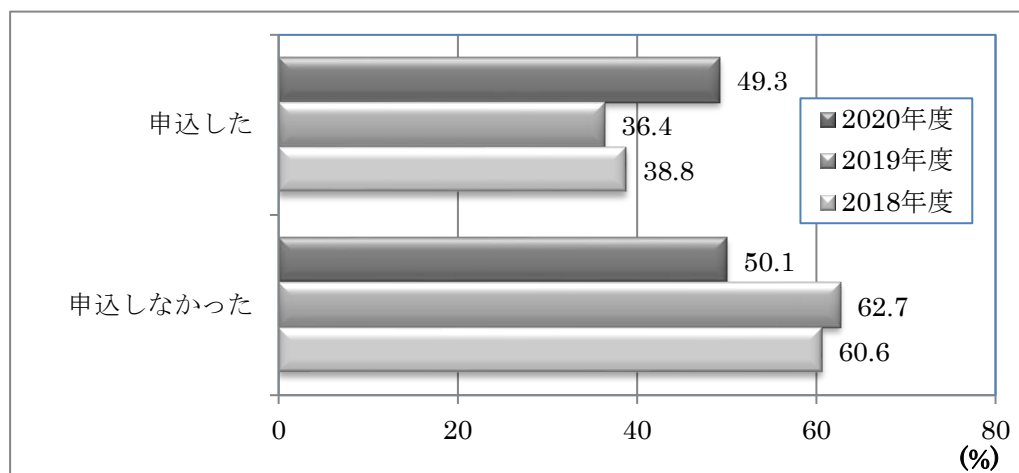
平均金利は「1.0%～1.5%未満」が前回比 8.6 ポイント増加し 45.7%と最も多い。「1.0%未満」も前回比 3.7 ポイント増加し 10.8%、逆に「1.5%～2.0%未満」や「2.0%～2.5%未満」は減少しており、金利低下が続いている。



(7) 最近 6 ヶ月間の借入申込（申込実績）

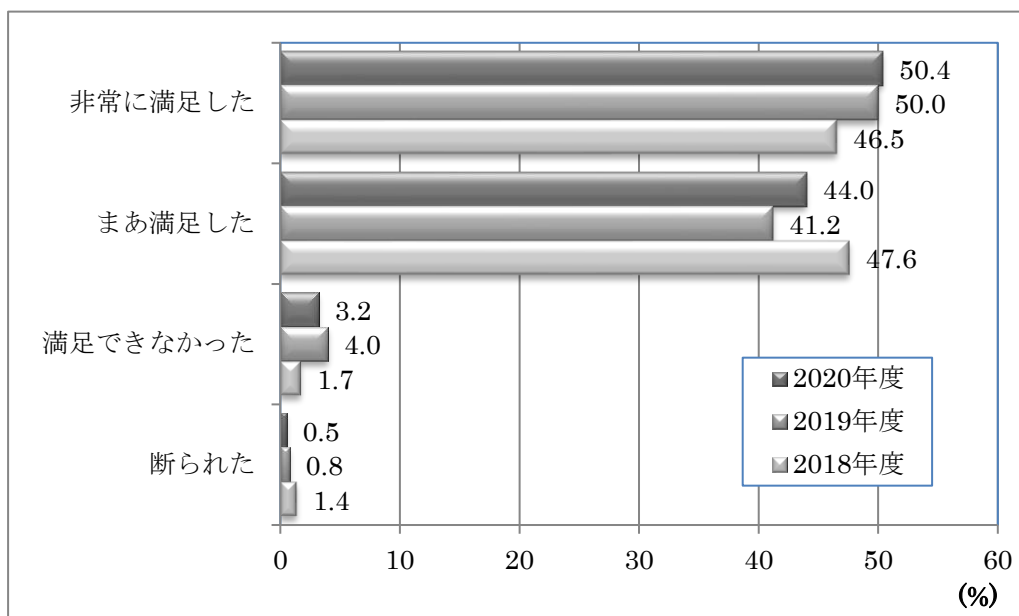
「申込した」は前回比 12.9 ポイント増加し 49.3%だった。業種別に見ると「卸売業」が 64.3%、「飲食業・宿泊業」が 60.0%と高かった。

従業員規模別では「21人以上」が 84.2%、「11～15人」68.8%、「16～20人」64.3%と規模の大きいクラスの申込実績が高く、逆に「1人」39.7%、「0人」41.4%と規模の小さいクラスは低かった。



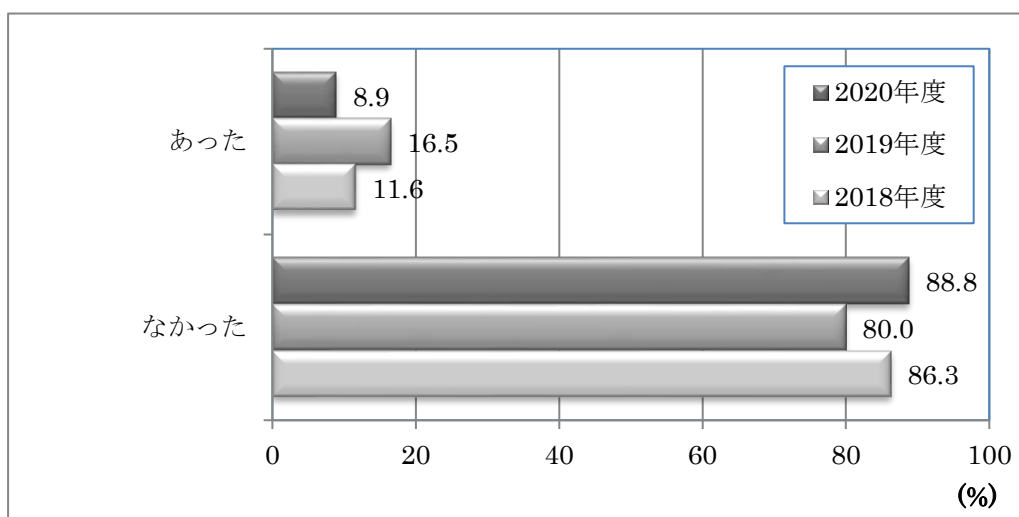
(8) 借入の満足度

「非常に満足した」「まあ満足した」の合計は、前回比 3.2 ポイント増加し 94.4% の高水準だった。「満足できなかった」は前回比 0.8 ポイント減少し 3.2% だった。「断られた」は 0.5% だった。



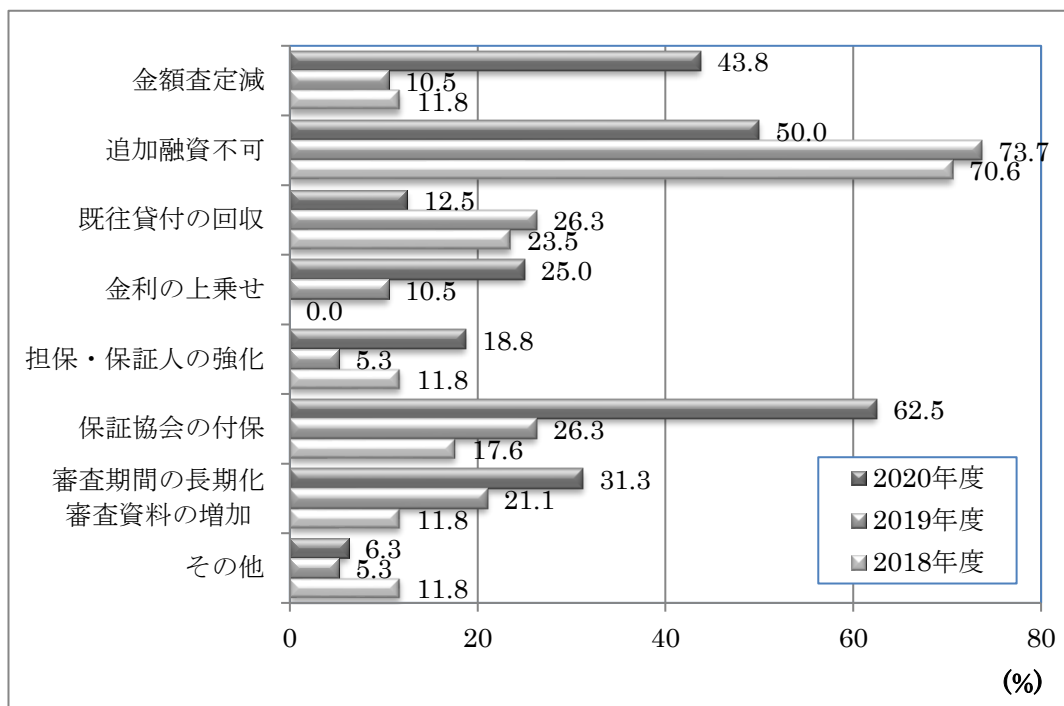
(9) 「貸し渋り」の有無

「あった」が前回比 7.6 ポイント減少し 8.9%。「なかった」は前回比 8.8 ポイント増加し 88.8% となった。



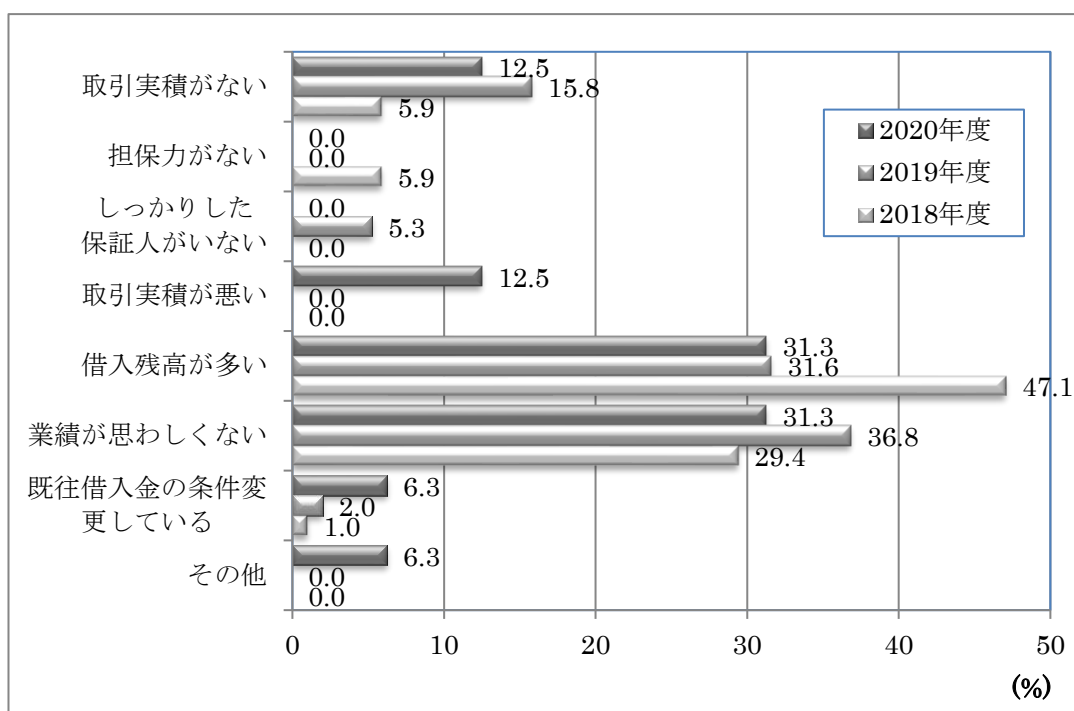
(10) 「貸し渋り」の内容 (3つ以内で回答)

「保証協会の付保」「追加融資不可」「金額査定減」「審査機関の長期化」の順に多かった。



(11) 借りにくい、借りられない理由

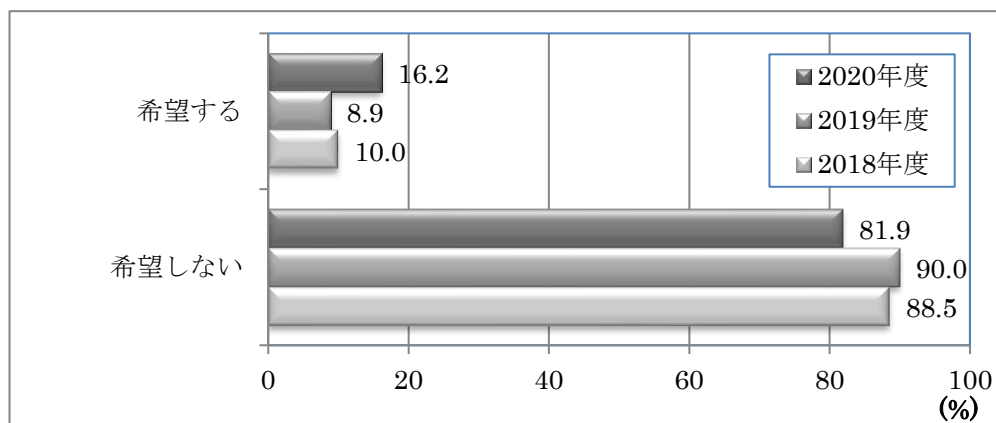
「借入残高が多い」「業績が思わしくない」が共に31.3%で、この2項目が主な要因となっている。



(12) 借入返済の条件変更（希望の有無）

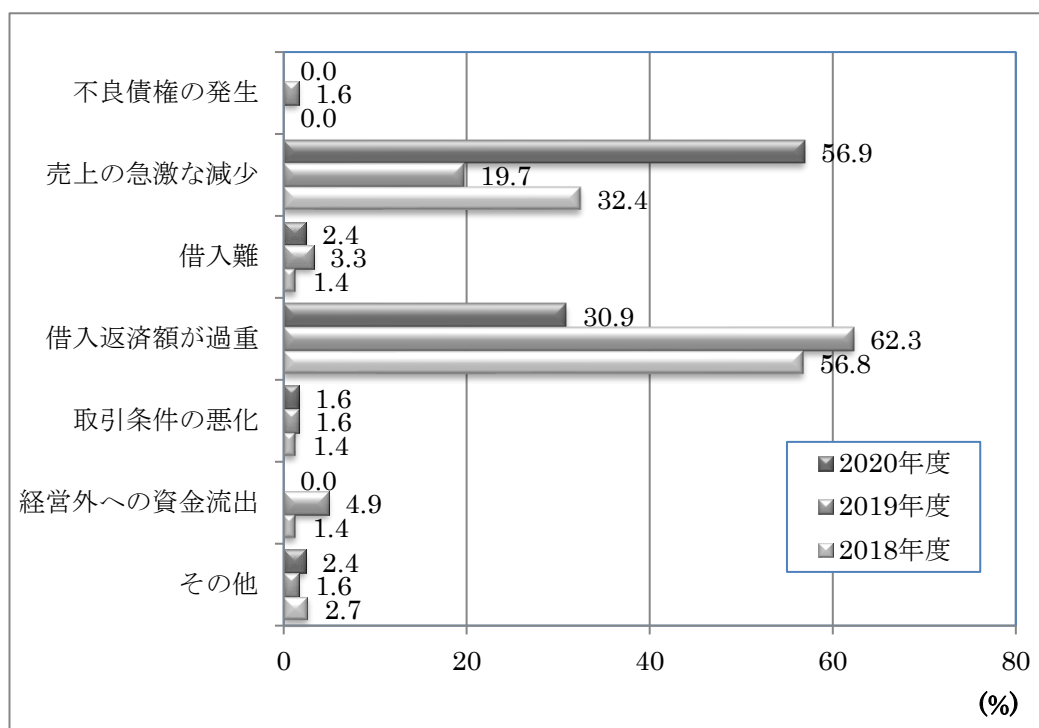
条件変更を「希望する」割合は、前回は7.3ポイント増加し16.2%だった。

業種別では「小売業」「製造業」「飲食業・宿泊業」の順に「希望する」割合が多かった。



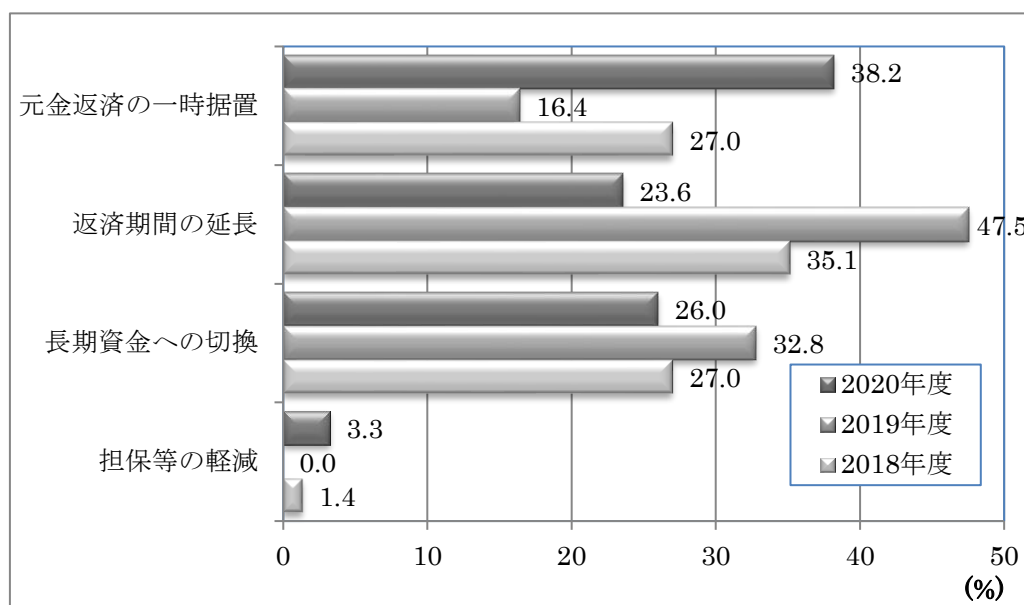
(13) 条件変更を希望する理由

前回までは「借入返済額が過重」が最も多かったが、今回は「新型コロナウイルス」の影響もあり、「売上の急激な減少」が前回比37.2ポイント増加し56.9%と最大の理由になった。



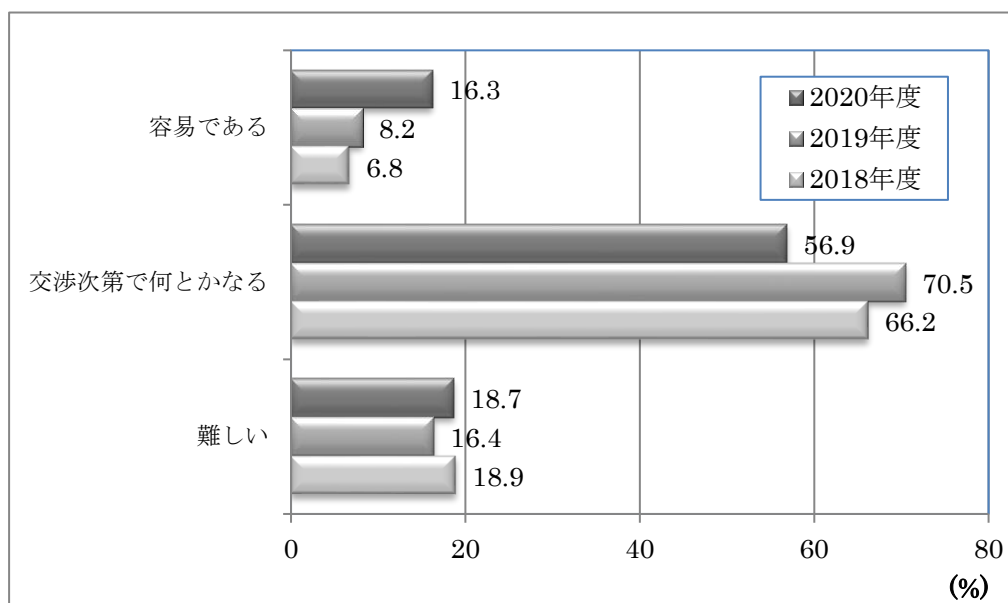
(14) 希望する変更内容

「元金返済の一時据置（猶予）」が前回比 21.8 ポイント増加し 38.2%と一番多くなり、次いで「長期資金への切換」「返済期間の延長」となった。



(15) 条件変更の難易度

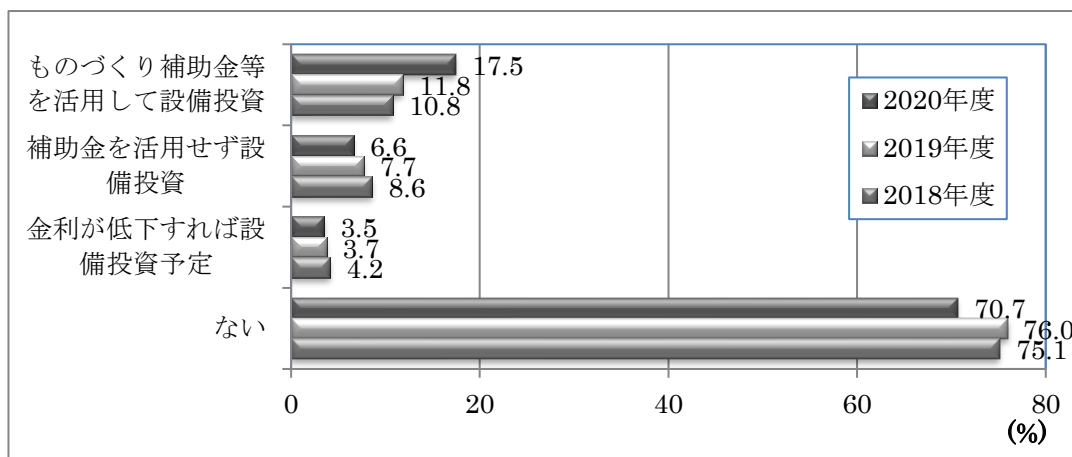
「容易である」が前回比 8.1 ポイント増加し 16.3%と改善したが、「難しい」も 3年振りに増加し 18.7%となった。



4. 今後の借入計画 等

(1) 今後1年間の設備投資計画について

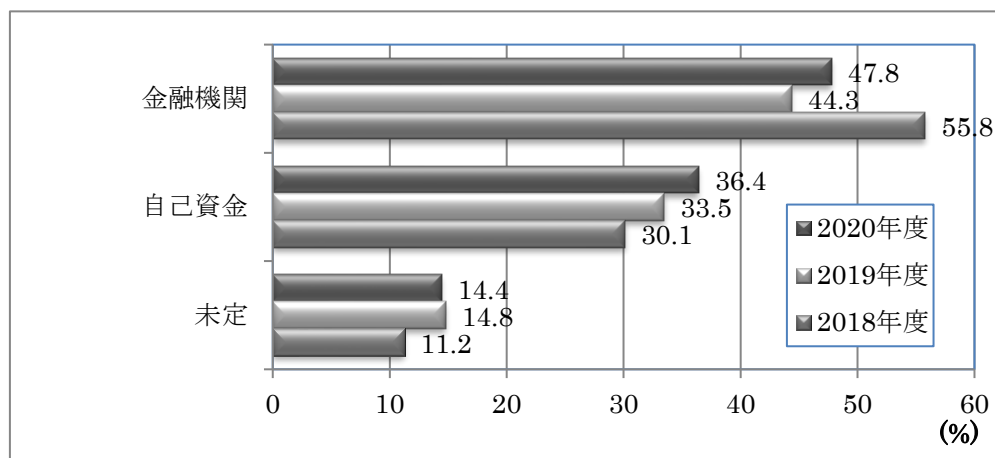
「計画あり」の合計が前回比4.6ポイント増加し24.1%、特に「ものづくり補助金等を活用して設備投資」が前回比5.7ポイント増加し17.5%となった。「計画なし」は前回比5.3ポイント減少し70.7%。



(2) 資金調達の予定について

調達先は47.8%が「金融機関」だが、「自己資金」も36.4%と高水準である。

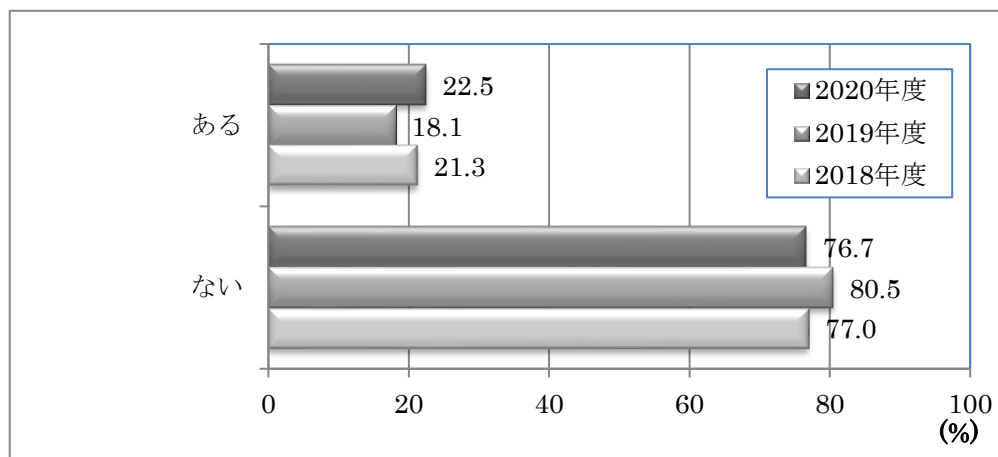
「自己資金」での調達を業種別に見ると、「小売業」52.3%、「飲食業・宿泊業」46.3%、「サービス業」42.0%が高く、従業員規模別では「2人」56.4%、「1人」50.0%、「0人」44.4%と小さいクラスで割合が高い。



(3) 今後1年間の借入計画

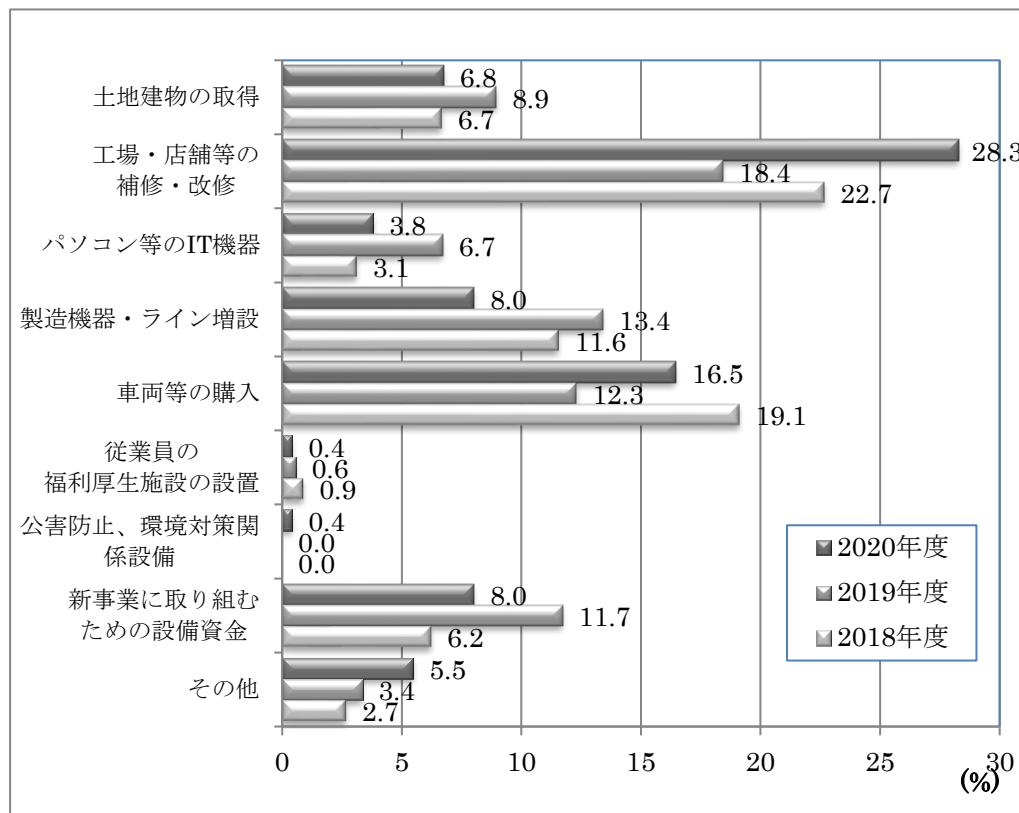
「借入計画がある」は前回比4.4ポイント増加し22.5%だった。

「借入計画がある」を業種別に見ると、「運輸業」40.7%、「製造業」30.2%「建設業」25.3%の順に多い。



(4) 借入計画がある場合の資金使途

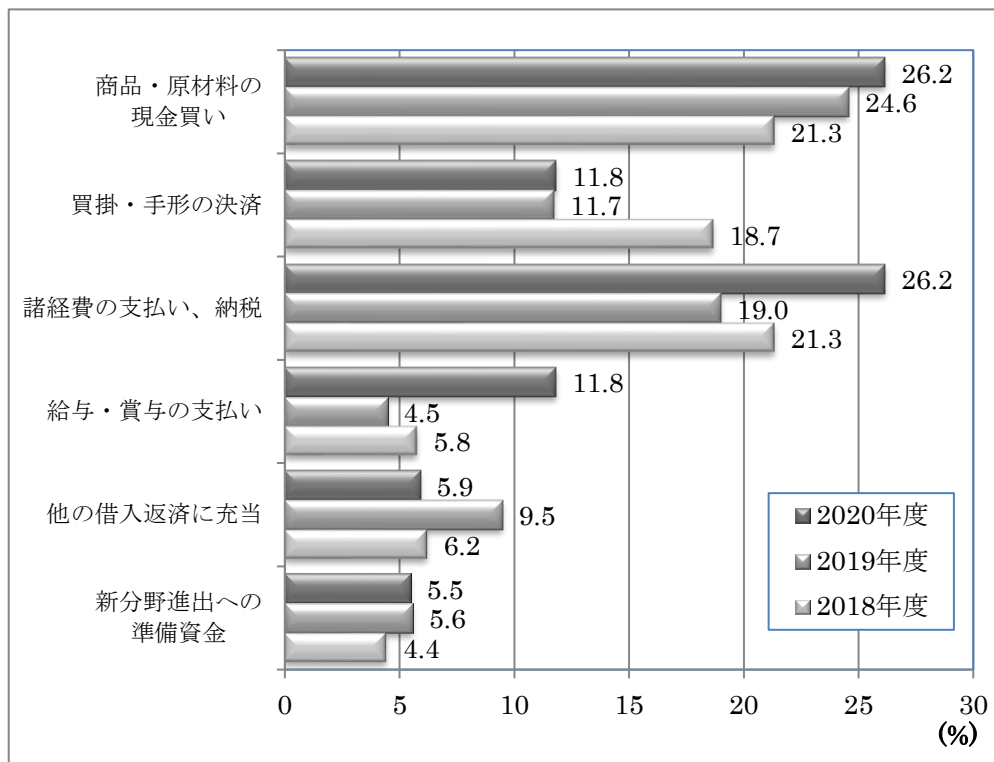
【設備資金】



「その他」にエレベーターのリニューアル、下水道工事等があった

「設備資金」の資金使途では「工場・店舗の補修・改修」28.3%、「車両等の購入」16.5%等本業への投資が多い。「新規事業に取り組むための設備資金」は前回比 3.7ポイント減少し8.0%だった。

【 運転資金 】

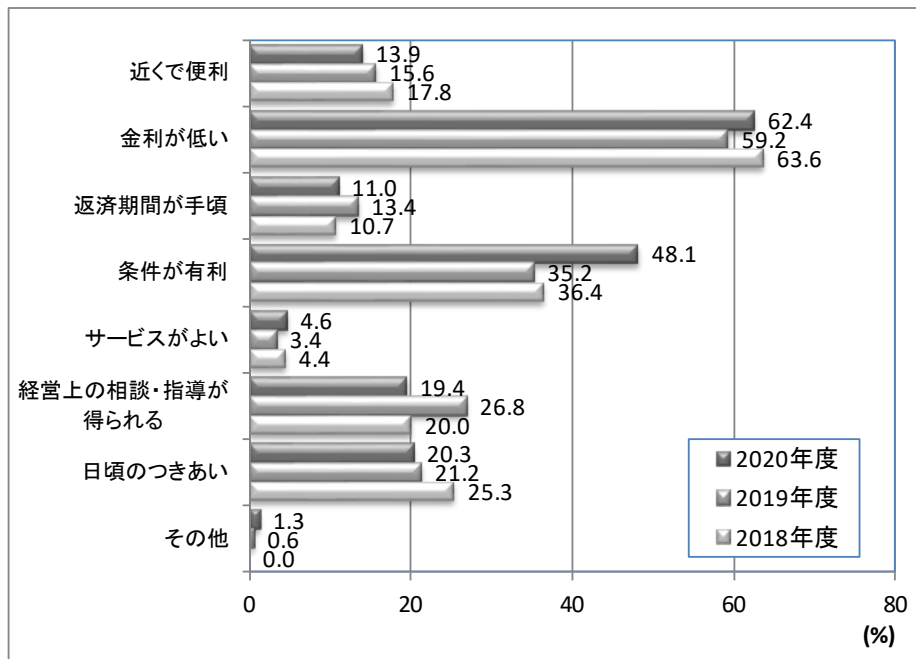


「運転資金」では、「商品・原材料の現金買い」「諸経費の支払い、納税」が多い。「新分野進出への準備資金」は5.5%で、前回比横這いだった。

(5) 借入時に重視する条件（2つ以内で回答）

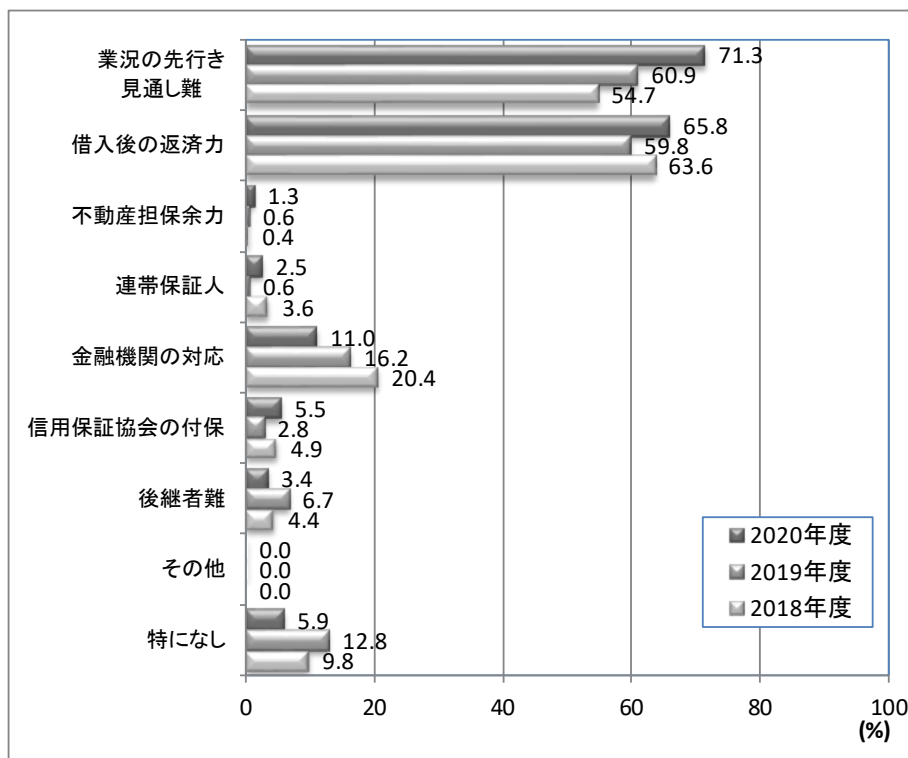
「金利が低い」が前回比 3.2ポイント増加し 62.4%、「条件が有利」は前回比 12.9ポイント増加し 48.1%となり、直接的な借入条件が重視されている。

一方、「日頃のつきあい」が前回比 0.9ポイント減少し 20.3%、「経営上の相談・指導が得られる」前回比 7.4ポイント減少し 19.4%、「近くて便利」は前回比 1.7ポイント減少し 13.9%と間接条件は低下傾向にある。



(6) 借入を考える場合の懸念事項 (2つ以内で回答)

「業況の先行き見通し難」が71.3%、「借入後の返済力」が65.8%で2大懸念項目になっている。「金融機関の対応」は前回比5.2ポイント減少し11.0%、「信用保証協会の付保」は前回比2.7ポイント増加し5.5%だった。

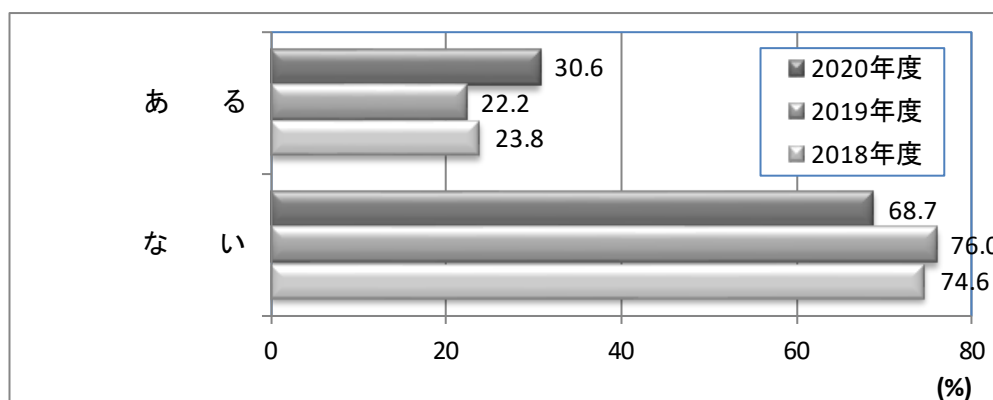


5. 制度融資 等

(1) 国・県・市町村の制度融資の最近1年間の利用状況

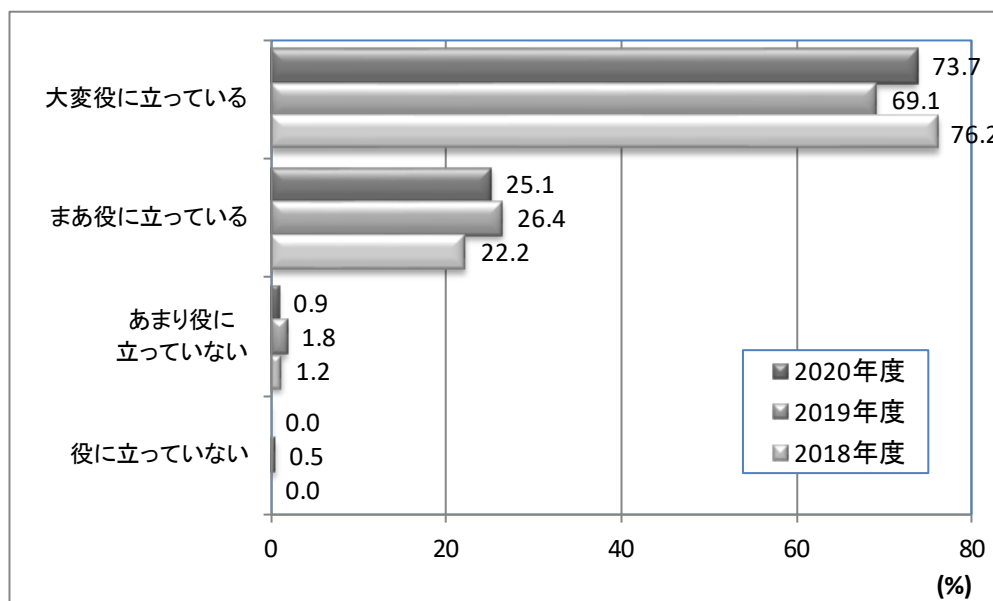
「利用がある」は前回比8.4ポイント増加し30.6%となった。

「利用がある」を業種別に見ると、「製造業」が36.8%、「飲食業・宿泊業」が35.7%と利用率が高い。従業員規模別では、「16～20人」が51.5%、「21人以上」が45.2%と大きいクラスで積極的に利用している。



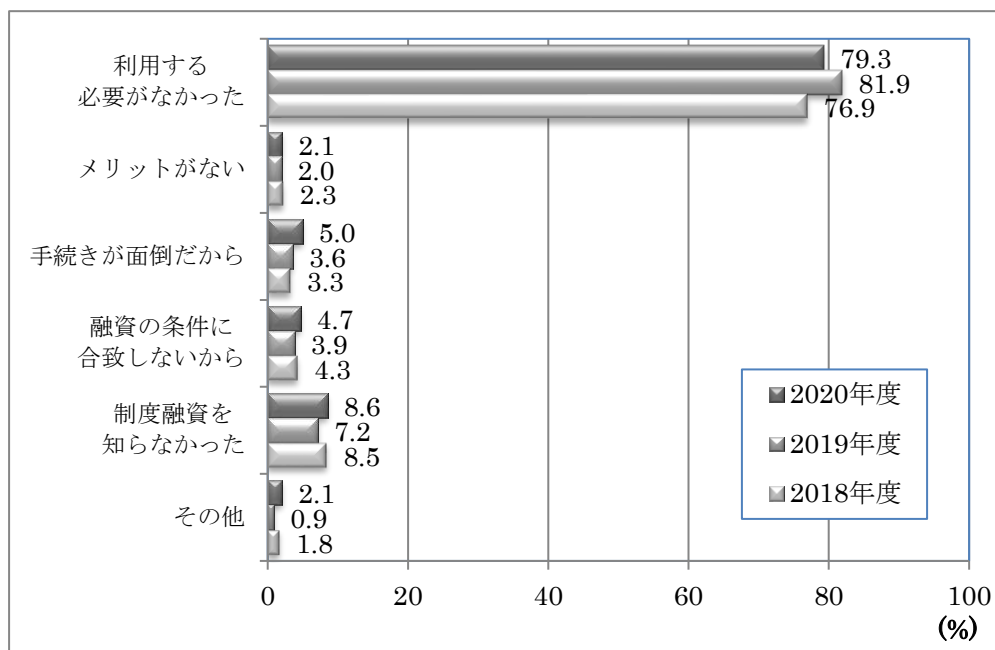
(2) 国・県・市町村の制度融資の経営（資金調達）上の有用性

経営の役に立っていると回答した先は、「大変役に立っている」「まあ役に立っている」を合わせて98.8%だった。



(3) 国・県・市町村の制度融資を利用しなかった理由

「利用する必要がなかった」の割合が 79.3%と圧倒的に多く、次いで「制度融資を知らなかった」8.6%、「手続きが面倒だから」5.0%が続く。

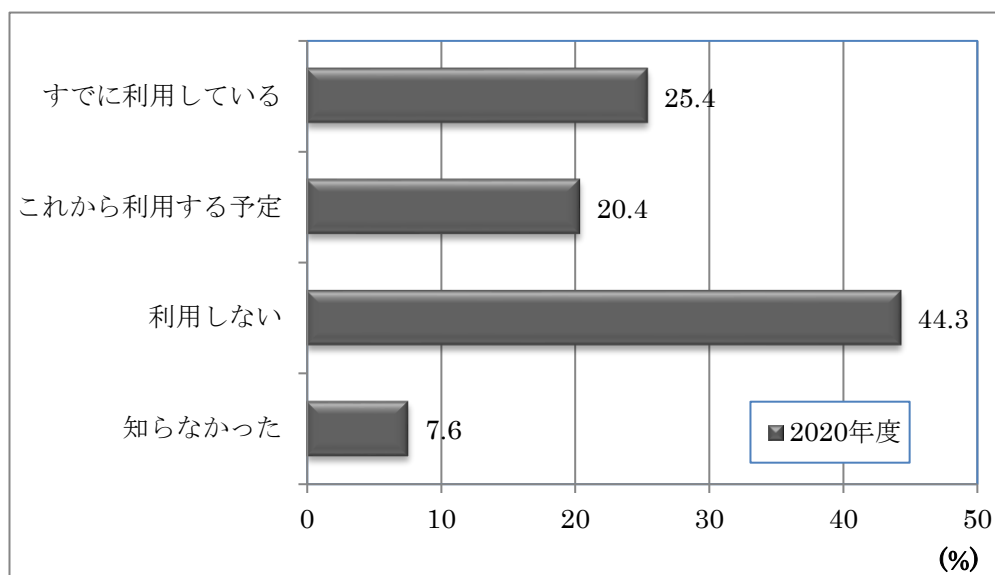


(4) 日本政策金融公庫・県などの「新型コロナウイルス」対策用制度融資の利用状況

「すでに利用している」が 25.4%、「これから利用する予定」が 20.4%だった。

「すでに利用している」を業種別に見ると、「飲食業・宿泊業」が 45.0%、次に「製造業」が 32.4%と高かった。

また、創設後半年が経過していないにもかかわらず「知らなかった」は 7.6%と少なく、短期間によく周知されていると言える。

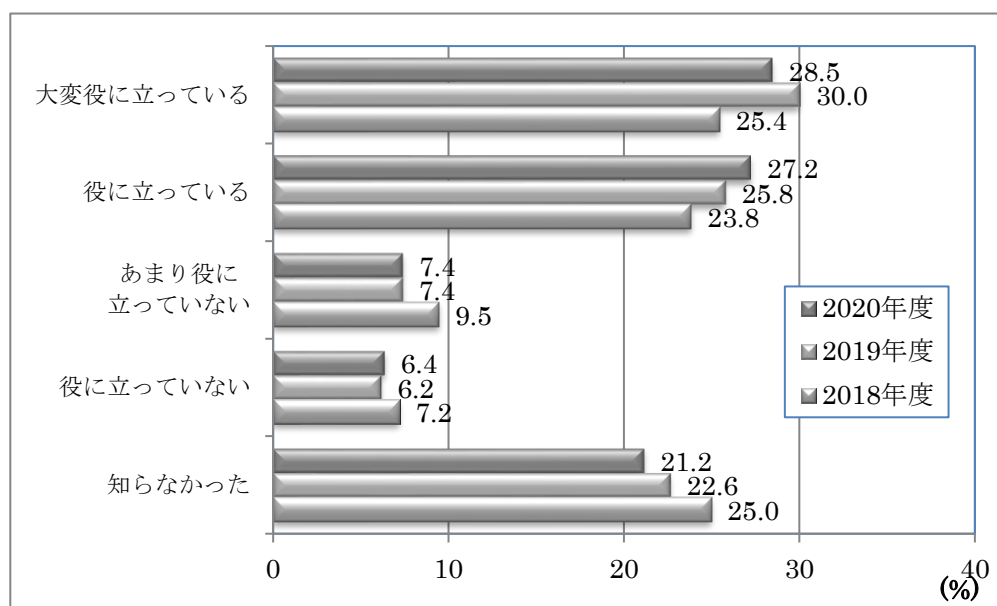


(5) 国（政府系金融機関）・県・市町村の制度融資に対して寄せられた意見

- ・金利を安くしてほしい・・・4件
- ・金利をゼロにしてほしい・・・2件
- ・融資条件などを広く周知してほしい・・・5件
- ・融資条件の緩和・・・4件
- ・迅速な対応（審査のスピードを速く）・・・5件
- ・借入期間を長くしてほしい
- ・無担保・低金利の融資を続けてほしい
- ・コロナ関連の制度融資を申し込みましたが、先行き売上減少が危惧される中では心強いと思う
- ・対応が早く、とても助かった
- ・コロナによる売上減少が長期に続く場合、融資に頼らざるを得ず、その時は利用したい
- ・「国民金融公庫」時代は直接会社に来られ、いろいろなアドバイスを受け、それが安心感にもなった
- ・資料を商工会等に置いてほしい

(6) マル経融資（日本政策金融公庫の公的融資制度）の経営上の有用性

「大変役に立っている」「役に立っている」の合計が 55.7%と比較的高い。一方、「知らなかった」も徐々に減少しているが 21.2%と依然として高く、一層の周知が望まれる。

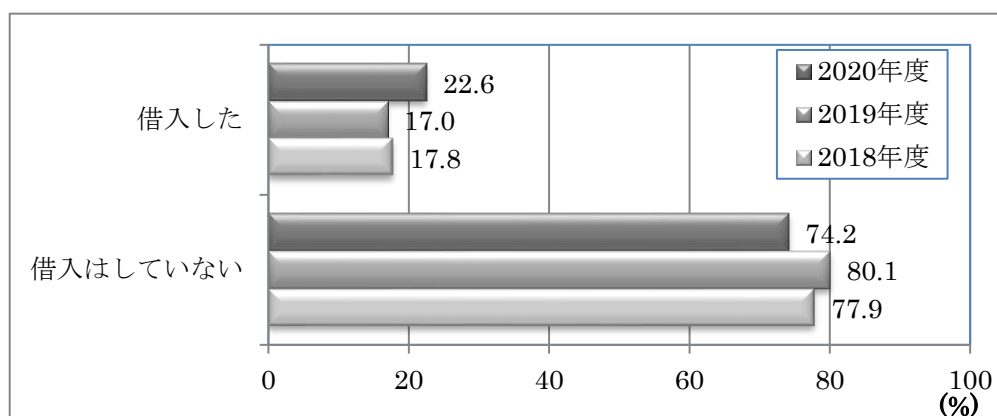


(7) 信用保証協会について

ア. 最近1年間の信用保証協会保証付き借入の利用について

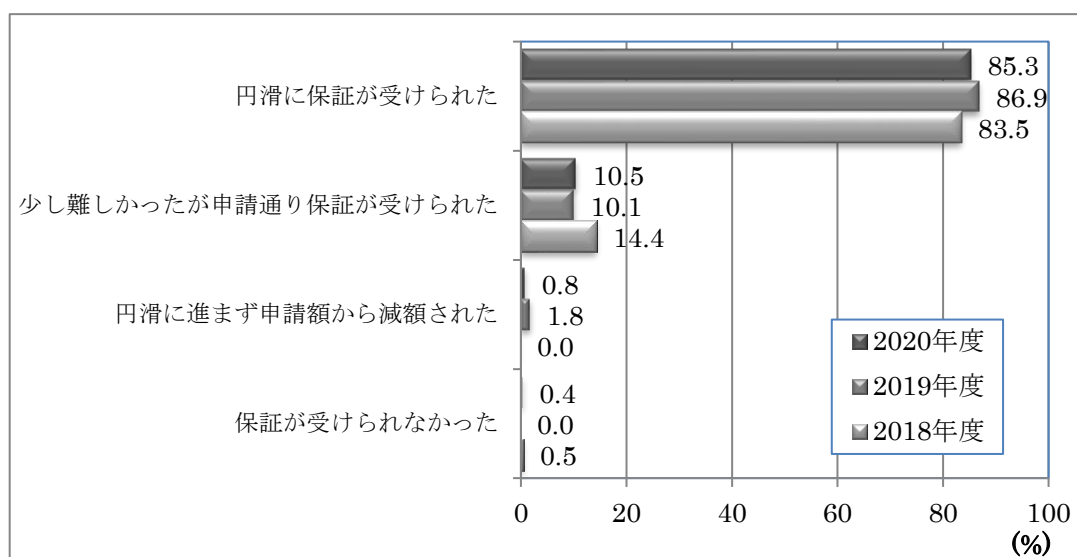
最近1年間に保証付きで借入をした先は前回比5.6ポイント増加し22.6%だった。増加の理由は、県や市の保証付き「新型コロナウイルス」対策制度資金の利用が多かったためと思われる。

従業員規模別に見ると、「16～20人」が42.4%、「21人以上」が35.7%と規模の大きいクラスで高く、(1) で見た「制度融資の利用状況」と一致している。



イ. 円滑な保証手続き

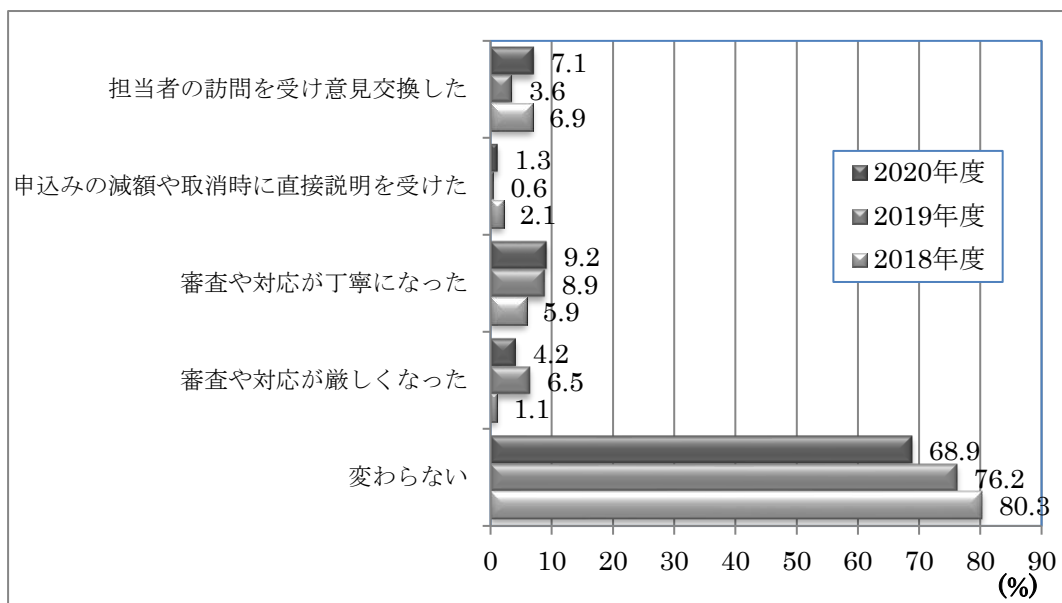
「円滑に保証が受けられた」85.3%と「少し難しかったが受けられた」10.5%で合計95.8%が保証応諾となった。



ウ. 信用保証協会の対応

「変わらない」が前回比7.3ポイント減少し68.9%。

「訪問を受け意見交換した」「直接説明を受けた」「対応が丁寧」の評価意見が前回比4.5ポイント増加し17.6%、「厳しくなった」は前回比2.3ポイント減少し4.2%だった。



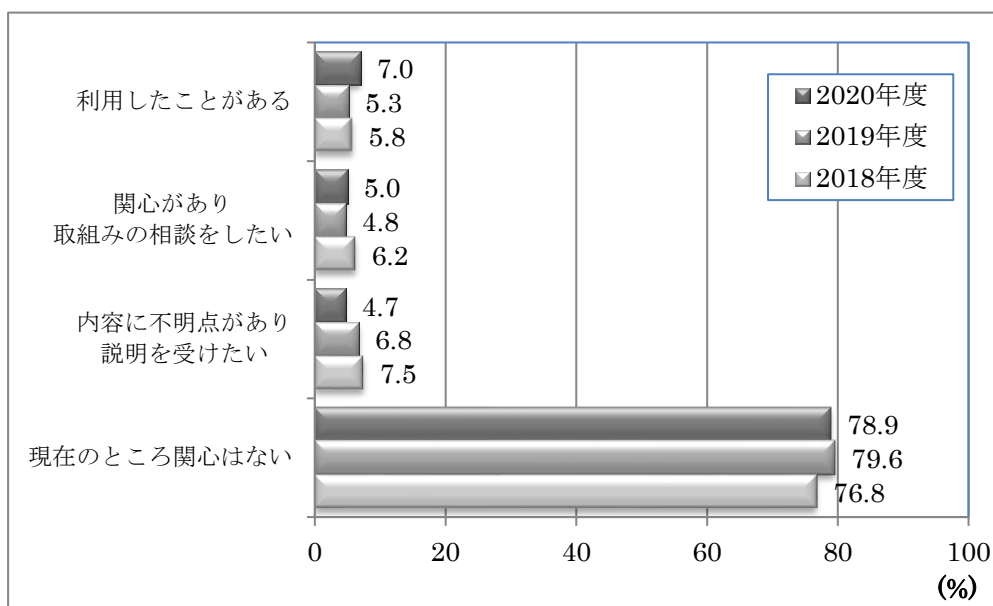
(8) 信用保証制度について寄せられた意見

- ・保証料が高い・・・4件
- ・融資（保証）条件の緩和・・・2件
- ・対応を速く・・・2件
- ・手続きの簡素化
- ・個人事業者には対応が厳しいように思う
- ・80歳を過ぎたせいか保証してくれない
- ・訪問を受けたことがない
- ・担当者が直ぐに説明してくれるようにしてほしい
- ・対応が非常に悪い
- ・手続きが簡単で有難い
- ・いざという時に心強い
- ・大変有難く、助かりました

6. 最近の諸制度について

(1) 「中小企業・小規模事業者ビジネス創造支援事業」の専門家派遣について

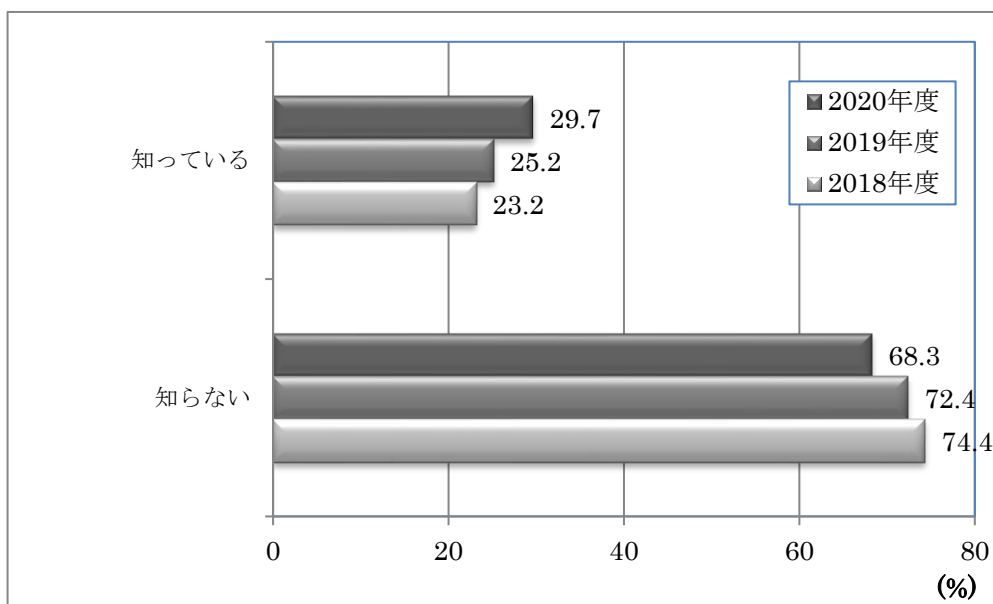
「利用したことがある」は前回比 1.7 ポイント増加し 7.0%になったが、「関心があり相談をしたい」「内容の説明を受けたい」の合計は前回比 1.9 ポイント減少し 9.7%となり、新しい先への周知に努力が必要と思われる。



(2) 事業承継について

ア. 「事業引継ぎ支援センター」の認知度

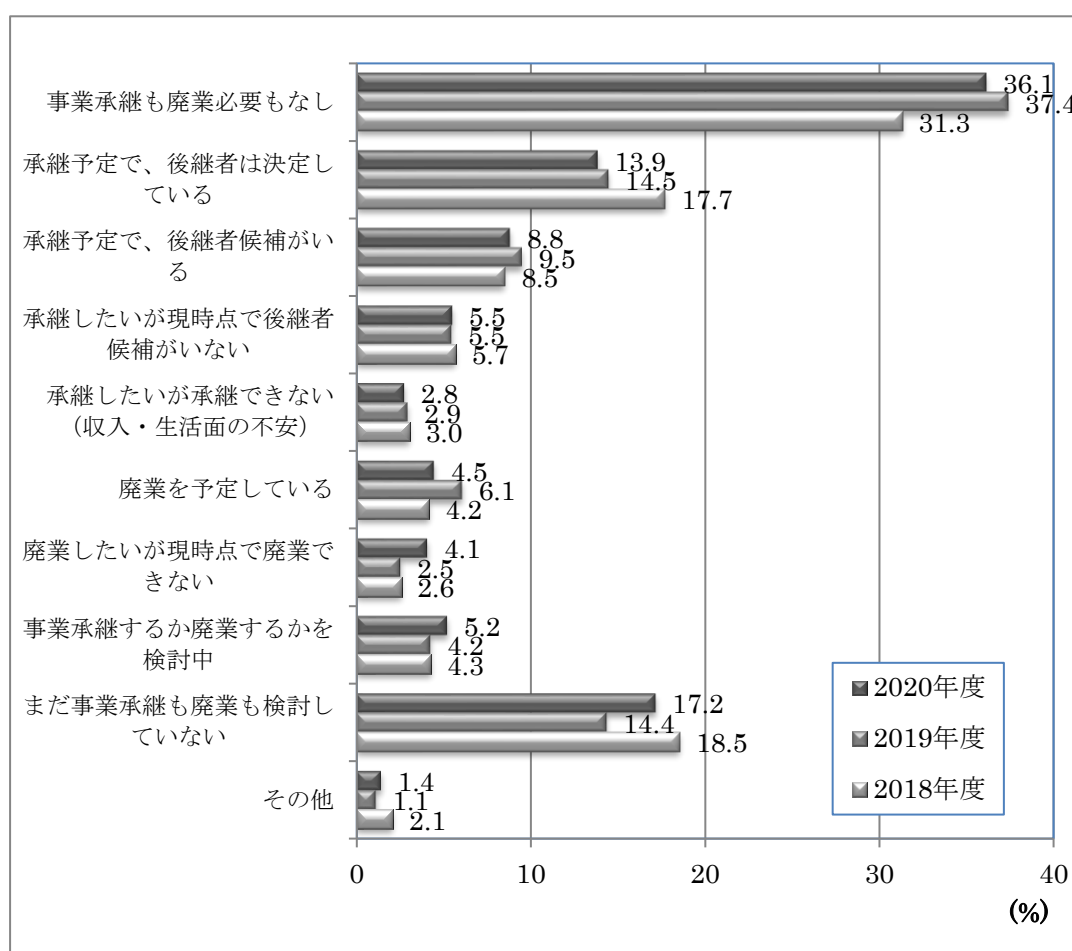
「知っている」が前回比 4.5 ポイント増加し 29.7%、認知度は毎年上がっている。



イ. 事業承継（後継者対策）

「事業承継も廃業も必要なし」と「事業承継も廃業も検討していない」の合計は前回比 1.5 ポイント増加し 53.3%。

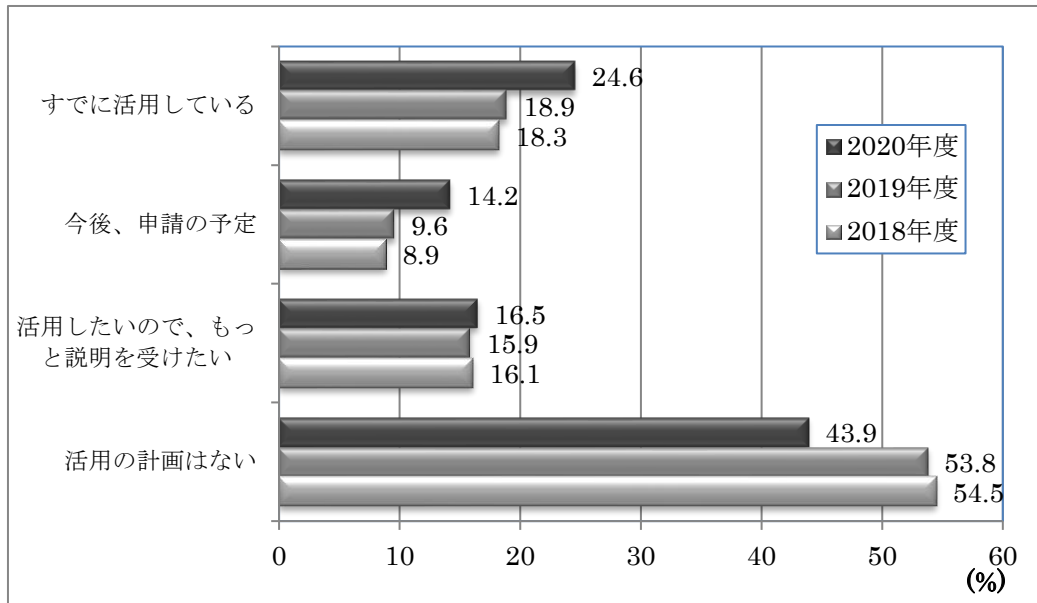
残る全体の約半数が事業承継か廃業を検討中で、うち「後継者決定」「後継者候補がいる」の合計は前回比 1.3 ポイント減少し 22.7%となった。「後継者候補がない」「承継したいが承継できない」の合計は 8.3%、「廃業予定」「廃業したいができない」「事業承継か廃業か検討中」の合計は前回比 1.0 ポイント増加し 13.8%となった。それぞれの問題解決のために、「事業引継ぎ支援センター」の積極的な活用が望まれる。



(3) 「ものづくり補助金」や「小規模事業者持続化補助金」などの活用状況

「すでに活用している」と「今後、申請予定」の合計で 38.8%と前回比 10.3 ポイント増加し、活用が進んでいる。業種別に見ると「製造業」で 57.2%、次いで「飲食業・宿泊業」が 47.9%と活用度が高い。

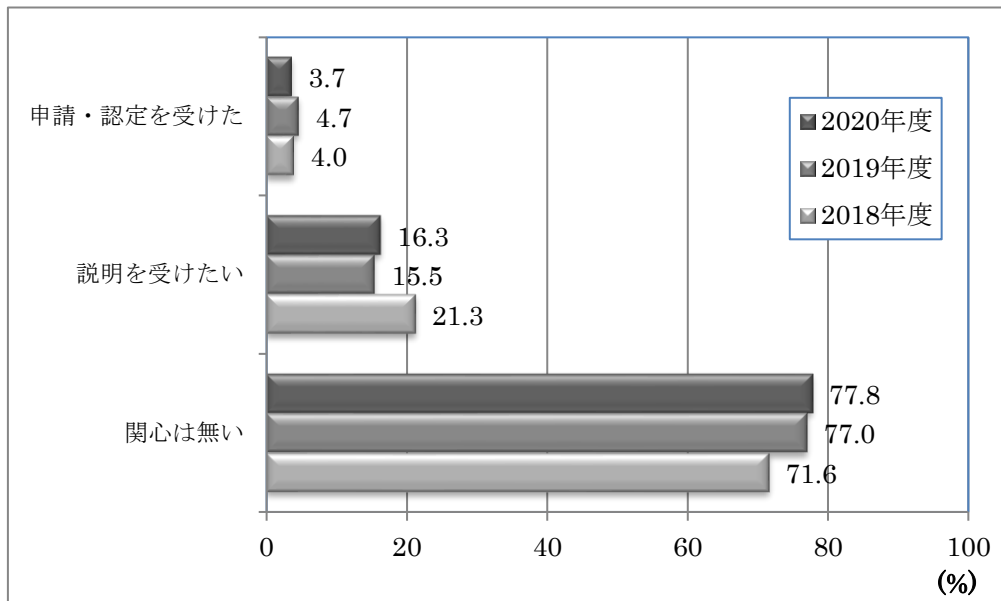
「活用したいので、もっと説明を受けたい」は 16.5%だった。



(4) 「経営力向上計画」認定制度について

「申請・認定を受けた」は前回比 1.0 ポイント減少し 3.7%と低い。「説明をうけたい」は 0.8 ポイント増加し 16.3%ではあるが、全体として関心は薄い。

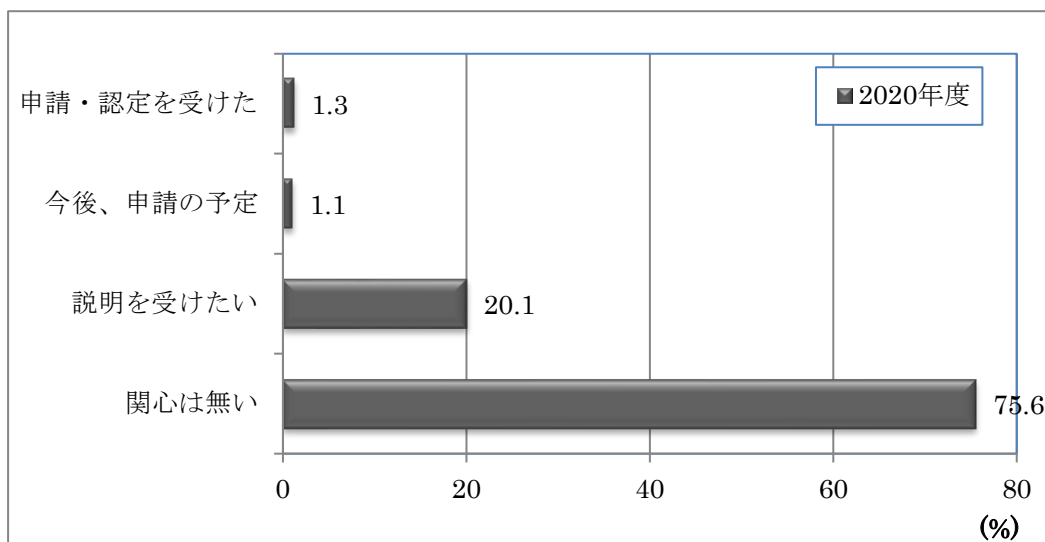
業種別では、「製造業」で「申請・認定を受けた」が 10.4%、「説明を受けたい」が 21.4%と最も関心が高い。



(5) 「事業継続力強化計画」認定制度について

ちょうど1年前に施行された制度だが、「申請・認定を受けた」が1.3%、「今後、申請の予定」が1.1%と低い。

ただ、「説明を受けたい」が20.1%となっており、大規模な自然災害が増加していることから、今後さらに関心が高まるものと思われる。



(6) 商工会に期待する金融円滑化支援策等について

- ・ 情報提供・・・6件
- ・ 新しい情報が伝わって来ない 聞かないと教えてくれないので、その点を改善してほしい
- ・ 指導・提案をしてほしい…3件
- ・ 会員をお客様と見ずに、商売の在り方・やり方を強く指導してほしい
- ・ 担当者にその都度聞けるようにしてほしい
- ・ ネットの活用方法を教えてほしい
- ・ 事業承継に関して支援があれば有難い
- ・ 経営者が相談に行く⇔職員が会社を訪問する もっと行き来があれば良い
- ・ いつも丁寧に相談に乗って頂いております
- ・ いつもご指導、ご助言を頂き有難く思っています
- ・ 職員の皆様の日々の努力に感謝しています
- ・ 今後も相談よろしくお願ひします
- ・ いつもお世話になり有難うございます・・・3件

以上